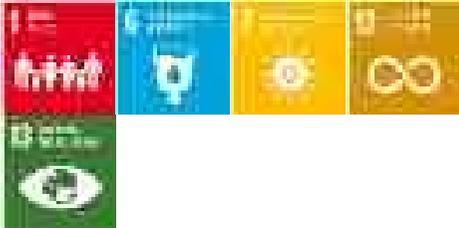


おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
1	アイ・アール株式会社代表取締役 山城ちずえ	<ul style="list-style-type: none"> ●自然環境の保全沖縄の豊かな自然環境を守り、次世代に引き継ぐため、生物の多様性の保全に取り組むとともに陸域・水辺環境の保全、自然環境の適正利用に努めるほか、環境容量を超えた経済活動等によって失われた沖縄の自然環境の再生に取り組めます。 ●再生資源コンクリート・鉄屑・木くずの再利用することによって無駄な資源を出さず、環境・資源にやさしい世の中にする。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
2	株式会社アースアンドウォーター 代表取締役山中正美	<ul style="list-style-type: none"> 取引先に対して、自社の節水装置設置前と設置後を比較し、節水量と節水によるCO2 排出削減量を見える化し、CO2 排出削減量については、第三者機関の認証のもと、CO2 排出削減活動証明書を発行。取引先の SDGs 活動としてご利用頂く。 節水による CO2 排出削減量を「節水 SDGs ポイント」に換算し、そのポイントに応じて定期的に慈善団体へ寄付させていただきます。 節水の効果が持続されるよう、定期的にメンテナンスを実施。節水装置をレンタルしている先のメンテナンスについては、汚れたり傷ついたりした節水装置を交換する際、煮沸滅菌処理を施したリユース品を使用することで循環型の節水メンテナンスシステムを構築しています。 公益財団法人熊本 YMCA を通じて、ミャンマーのエイズ孤児院への支援を 2016 年から継続しています。 ホームレスの方々の自立支援をする「ビッグイシュー日本版」の広告サポーターを 2017 年から継続しています。 NPO 法人ユニバーサルデザイン絵本センターが企画・制作する点字カレンダーの寄贈協賛企業として 2018 年から参加しています。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
3	株式会社 青い海 代表取締役社長又吉元栄	<p>当社は沖縄の海の恩恵と地域の皆様のご支援に感謝し、「おいしい」を創造・提供する企業として、SDGs の達成に寄与できるよう、社会の持続的発展や人と社会と地球がつながる安心で豊かな地域社会の実現に貢献します。</p> <p>■沖縄の子どもたちを貧困・孤独から救い明るい未来を切り拓きます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもみらいプロジェクトへの寄付 ・子ども食堂への製品提供、寄付子どもの貧困率ワースト1の沖縄県において「食」を通じ子どもたちへ「おいしい未来」を提供します。自社製品を子ども食堂に無償提供いたします。 <p>■クリーンエネルギーを活用し大気汚染、気候変動の軽減に努めます</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バイオガスを使った発電事業への協力 ・濃縮工程への食用廃油の活用・構内車両の低炭素車両の導入ステークホルダーと連携し、バイオガスを利用した発電事業への協力を行い、さらにそこで発生する廃熱を生産工程で利用することによってCO2を削減することに成功。塩づくりで欠かせない濃縮工程においては化石燃料から食用廃油への切り替えを行い従来型燃料の削減をしました。低炭素型構内車両の入れ替えを実施、製塩工程の見直しも行きCO2の排出量を削減します。 <p>■社員ひとりひとりが働きがいを感じる、魅力的な職場環境を実現します</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事評価制度の見直し ・有休取得率の更なる向上・キャリア開発支援・研修働きやすい制度や環境づくりにより、従業員の年次有給休暇の取得率が6割を超えています。産休・育休取得率100%・時間有休制度も導入しています。2021年4月からより働きやすい環境とすべく新人事評価制度を導入。今後新たな研修制度の導入、沖縄県ワーク・ライフ・バランス企業の認証、有休取得率向上を達成します。 <p>■沖縄の海の恩恵を受ける企業として、財産である綺麗な海を守ります</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ビーチクリーン活動 ・バイオプラスチック容器の採用沖縄の海水を製品資源としている当社ではこれまでビーチクリーン活動の実施を行ってきました。またマイクロプラスチック汚染対策として、バイオプラスチックを採用した容器や自然にやさしい包材の採用を実現します。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
4	<p>アクロス琉球 株式会社</p> <p>代表取締役首里 淳治</p>	<p>【自社の活動】当社では、『コンクリートと鉄製品の長寿命化』をスローガンに高温多湿で塩害環境が厳しい沖縄県にて新技術（ナノテクノロジー技術）を活用し、公共インフラや民間の資産を延命化へ導く活動を行っております。</p> <p>●<u>コンクリートを緻密化し長寿命化へ</u></p> <p>当社のコンクリート改質材「RCガーデックス」は塗布するとコンクリート内で固まり、コンクリートを緻密化させることができます。 これにより防水性・塩害抑制・中性化抑制・内部鉄筋の防錆強化など多機能で建物の長寿命化が期待できます。</p> <p>●<u>密着力でサビから構造物を守る</u></p> <p>特殊技術で粒子をナノサイズ化したことで強力な密着力を発揮する「染めQ防錆塗料」は、ケレン（サビ落とし）による鉛などの有害重金属の飛散を少なくすることが可能で環境汚染対策にも貢献できます。 また、今までは不可能だったアルミやステンレス、メッキ加工された面等あらゆる金属面への塗装が可能となっています。</p> <p>当社ホームページ https://acrossryukyu.ti-da.net/</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
5	<p>型枠業 安里工務店</p> <p>代表者 安里 和記</p>	<p>当事業所は工事段階で樹脂製ベニヤを使い大幅な再利用率を行い森林伐採の軽減による森林の保護・回復に努めています。 建設業の特性を活かし、障害児への木工体験を行うことにより就業・学習を支援しています。 児童養護施設への学習環境への協力等、貧困・福祉・教育・支援などを行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●建設工事段階での CO2 削減 <ul style="list-style-type: none"> ・樹脂製型枠を導入し木材を使用しない工事で森林保全を行い緑ある街作りに取り組みます。 ●肢体不自由児への木工体験 <ul style="list-style-type: none"> ・肢体不自由児への一人一人個別性に準じた木工体験、学習を通して自立活動支援を行います。 ・肢体不自由児への非現実的な体験で木材・自然に触れ合い刺激をあたえ物作りを通して将来的な就業支援へつなげます。 ●児童養護施設への継続的な支援 <ul style="list-style-type: none"> ・保護、養育を必要としている子供達へ家庭に近い教育環境を整えるための支援を行っています。 ・卒園後の自立を継続的に支援しています。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
6	株式会社アザナ 代表取締役社長 田邊裕貴	<p>① コロナウイルス蔓延時の医療資材支援 → コロナ蔓延に伴い医療資材が不足。マスクすら入手できなかった時期に、有志団体ゆいマスクプロジェクトと連携して、クラウドファンディングを立ち上げて約 820 万円調達して医療資材の調達と県内機関への支援実施。弊社では認知活動とクラウドファンディング運用を主に担当。</p> <p>② コロナ差別 STOP 啓蒙活動立ち上げ → コロナ差別が社会課題視される中、WHO 等が提唱するソーシャルスティグマの考え方を軸として、差別が新たな感染を生み出すことを伝える啓蒙ポスターを制作。デザイン費用は弊社、印刷費用は有志団体ゆいマスクプロジェクトから捻出。約 6000 枚のポスターを県内に掲示。NHK 沖縄でも取り上げられ、沖縄県のホームページにも差別防止活動として掲載。</p> <p>①②のように、今後もコロナ蔓延等の社会課題が発生した場合、自社の経営資源を活かした企画を行い地域の課題解決に取り組んでいく。</p> <p>③ 子ども食堂へのホームページ寄付と今後の活動支援提案 → 子ども食堂の運用をより円滑にするためのツールとして、Web 上で休みの日を管理し活動も報告できる機能を実装したホームページを寄付。よりサステナブルに施設運営ができる可能性を高めた。ただ、子ども食堂の財源となる貧困緊急対策支援が終了する可能性があるため、現在施設を持続的に守るためにどうすべきか企画提案中。このプロトタイプを開発して企画が効果的だった場合、他の施設や地域でも活用できるようにパッケージ化を目指す。</p> <p>④ サンゴ保全の取り組み → 沖縄が世界に誇る地域資源であるサンゴ。このサンゴを増やし守るために有性生殖・サンゴ再生支援協議会の委員として参画。資金の支援だけではなく、クラウドファンディングの運用経験やブランディングの知識を活かして、この協議会自体の活動支援を行っていく。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
7	株式会社あざみ屋 代表取締役社長 新賢次	<p>伝統工芸品「八重山みんな織」織元の株式会社あざみ屋では、自然環境に恵まれた石垣島のファッションブランドとして積極的に、お客様とお取引会社様、従業員と共に「いつの世までも末永く」持続可能な世界を紡いでいけるように SDGs への取り組みを推進していきます。</p>	
		<p><u>(1) 持続可能な生産と消費について</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●使い捨て型のファッション消費を止める粗悪な材料を使用せず、耐久性を考慮した仕様で製作し、短時間で飽きられないデザインを採用しています。また、販売した商品の修理を受け付けています。 ●リサイクルやゴミ問題への取り組み 通常は廃棄される生地や、ハギレを生かした商品をアップサイクルして販売しています。 	
		<p><u>(2) 持続可能な産業化・観光業・文化振興を推進</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●持続可能なインフラを開発沖縄県八重山地方に伝承されてきた伝統工芸品「八重山みんな織」の継承・普及・発展に貢献しています。八重山みんな織の研究・開発を継続し、時代のライフスタイルに適応した商品づくりをしています。 ●教育や職業訓練の場を提供 NPO 法人 八重山織物工芸産業振興会と共に、年に一度、子どもたちを対象に「八重山の子ども夏休みワークショップ」を開催し、秋には新たな職人育成を目的とした「八重山みんな織講習会」を実施しています。 	
<p><u>(3) 八重山の環境保全への取り組み</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ●動植物の持続可能性をサポートウミガメ刺繍付製品の売上の一部を日本ウミガメ協議会 所属 黒島研究所に寄付し、ウミガメ保護活動を支援しています。 ●ビーチクリーンの実施深刻な海洋ゴミの問題に取り組むべく、「ビーチクリーン」を実施しています。 			

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

(4) 人権・雇用について

●ジェンダー平等の実現障害者を雇用しており、更にジェンダーフリーの仕事場の実現を目指しています。



おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
8	株式会社アトムホーム 代表取締役宮平 克哉	<p>弊社では、持続可能な開発目標（SDGs）を推進するために、以下の取り組みを実施しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化対策の一環として CO2 ゼロの社会の実現化への取り組み再生可能エネルギーを活用した PPA（第三者所有モデル）事業及び蓄電池の販売事業を展開し、環境にやさしい CO2 ゼロの電気を供給・販促することで脱炭素化社会の実現を目指して事業を進めています。 ●地域貢献 <ul style="list-style-type: none"> ・2014 年～2019 年 沖縄セルラースタジアムにて開催のプロ野球公式戦に宜野湾市少年野球チームと渡嘉敷・阿波連小学校の児童を招待。（2020 年はコロナ渦のため中止） ・新型コロナの影響を踏まえたひとり親継続支援として、偶数月にお米・ポーク缶詰を宜野湾市役所（福祉推進課）へ寄贈。 ・新型コロナ感染防止対策として宜野湾市役所へ 400 枚・宜野湾警察署へ 200 枚フェイスシールドを寄贈。 ・新型コロナの影響を踏まえた生活に困窮する新一年生のご家族支援として宜野湾市役所（福祉推進課）へランドセル 9 個を寄贈。 	

おきなわSDGsパートナーのSDGsへの取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGsへの具体的な取り組み	関連するゴール
9	有限会社 アトリエ・門口 代表取締役 門口安則	<p>私達アトリエ門口は、地球について考えたい。自然や場所、既存建物等を破壊した価値よりも、新しく建つ建物の価値が大きくなるモノを創り続けたい。 気候変動や風土に配慮した設計に取り組み、自然を思い、地球に緑が溢れ、人々に安らぎを与える建築を創出する事を目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●すべての人に健康と福祉を <ul style="list-style-type: none"> ・自然素材の使用や快適な建築空間を創ることで、利用者の健康に配慮し、福祉施設（保育園・老人福祉施設）、医療施設の設計を行うことで福祉活動に貢献します。 ●質の高い教育をみんなに <ul style="list-style-type: none"> ・建築知識の向上のために県外・国外への建築視察の研修を行っており、様々な建築を直接見て、空間を感じることで、より良い建築を創り出します。また、社員のモチベーションを高める機会としても担っています。 ●働きがいも、経済成長も <ul style="list-style-type: none"> ・効率的な働き方を目指し、休日出勤や残業時間の軽減を推進することで、ワークライフバランスの充実を図ります。 ・育児や介護、自身の健康等、様々な状況に合わせた働き方に対応すべく、リモートワークや休業等を社員と共に相談し、働き続けやすい職場環境づくりに努めます。 ●住み続けられるまちづくり <ul style="list-style-type: none"> ・長く親しまれる公共建築、住宅、商業施設を創り出すことで貢献します。 ・ボランティア活動（清掃・見守り）により住み良い地域づくりに努めます。 ●つくる責任つかう責任 <ul style="list-style-type: none"> ・耐久性を持った建物であることはもちろん、優れた建築空間・デザインの建物を創ることにより、総合的に長期間利用される建物の設計を目指します。 ●気候変動に具体的な対策を <ul style="list-style-type: none"> ・太陽光発電による自然エネルギーを活用した設計を目指します。 ・雨水利用を推進し、利用できるすべての用途に雨水を活用します。 	     

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<ul style="list-style-type: none">・緑地帯やグリーンカーテンを施設設計で推進することにより温暖化対策を図ります。	
--	--	---	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
10	<p>アトリエほっちk i s s</p> <p>代表者 當山 薫</p>	<p>◆具体例</p> <p>1. エコ、リサイクルへの関心の動機付け (ゴール7・12)【廃材を利用したアート制作】布地芯のテント、段ボール迷路、使用済み容器の打楽器作りで想像力をアウトプットします。</p> <p>2. 質の高い教育(ゴール4)【本物に触れよう遠足会】ミュージシャンライブ、絵画展での実演、三線工房で民謡に親しむ、影絵ライブなどプロのクリエイターと触れ合い、感性を育む体験を遠足会として定期開催。</p> <p>3. 自然環境保全(ゴール14・15) 【ネイチャーゲーム】身近な自然の中で、自然への敬意に気付く親子体験会を毎週土曜に行っています。 (上記取組に関連するSDGsのゴール及びターゲット)</p> <p>◆目標4の《質の高い教育をみんなに》に当たる活動安定した情緒は親子のコミュニケーションから始まります。個性を育む教育で豊かな心と健やかな身体づくりの環境を整えることが人材育成に繋がります。</p> <p>文部科学省が掲げる<非認知能力>の向上についても同様、アートを通じた表現活動は個性を尊重し、多様な能力を伸ばす為の良質な教育法となります。 柔軟な発想や想像を表現できる実体験こそが、未来を創造する力となります。 一人一人の個性を認め合うことで多様な価値観を共有し、グローバルな感覚が磨かれます。</p> <p>制作の中で子供達が試行錯誤する体験こそが、生きる力を身につけられ、将来沖縄の現状の諸問題を解決できるような人間形成を期するものとなります。 また、沖縄の伝統文化・芸術性の継承に繋がる育成を目指しております。</p> <p>地域の親子と関わる為のイベント開催。 アートを通じた仲間作りや、情報共有の場を設けています。 今後の取り組みでは</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>『SDGs カードゲーム体験会』を定期的に行う。絵やポスターなどで視覚的に伝えていくことは市民が関心を寄せる有効な意識付けになります。</p>	
--	--	--	--

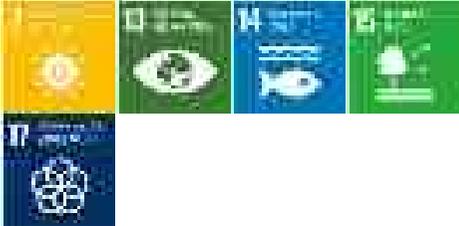
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
11	新垣カミ菓子店代表取締役伊波恵子	<p>持続可能な社会に向けた取り組み</p> <p>○環境への取り組みとして、脱炭素を目指し環境に配慮し、ごみ問題、脱プラに努める。 商品には持続可能な社会に向けた取り組みとして、全国でも先駆けて個包装フィルムに環境に優しい植物由来の原材料を配合したバイオマスフィルムとバイオマスインキを使用し石油資源の節約を図り。従来使用していた個包装フィルムのプラスチック使用料24%削減を達成し脱プラ、ゴミの削減に努める。(※当社調べ) また商品の箱には古紙を配合した再生紙を使いリサイクルを行い、限られた資源や環境にも配慮する。</p> <p>ちんすこうの原材料には国産材料を使用し輸送時に排出されるCO2の削減に努め低炭素島しょ社会を目指す。</p> <p>○地域との連携シルバー人材センター（浦添市）との連携で地域の特産品の開発、販売、雇用の創出。 「子供食堂」「保育園」「社協」等にも提供しコロナ禍でもスタッフが帰休することなく「働きがいも経済成長も」目指しています。 首里城復興に向けた取り組みとして文化財の復元、修復、首里城基金への寄付。</p> <p>地域と文化を育み環境を考え小さな菓子店が出来る事から始めようを合言葉に、こどもたちの未来へ繋ぐ持続可能な挑戦の始まり。として各関係団体とも連携を取り組む。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
12	アンダーテイクジ ジャパン 株式会社代 表取締役赤嶺 博保	<p>安心・安全なまちづくりとして漏水調査・管路診断や施設の運転維持管理等や給排水受付業務などの上下水道事業や公共及び民間の電気設備工事・土木工事・空調設備工事・磁気探査・調査ボーリングなどインフラ整備を行っています。すべての人に健康と福祉を ・ 安全な水とトイレを世界中に産業と技術革新の基盤を作ろう・住み続けられるまちづくりを モットーに取り組んでおります。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
13	株式会社アンベリアル 代表取締役 阿部 賢治	私共、株式会社アンベリアルが運営しております北部宿泊施設アダンリゾートでは、SDGs の取り組みとして、環境に優しい電気自動車を採用しております。又沖縄の美しい海を守るべく、施設に導入しておりますアメニティー類は天然素材を採用しております。	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
14	<p>社会福祉法人 ERF 福祉会 ぱいぬしまきのこほいく えん きのこべいびー</p> <p>理事長東川平 将太</p>	<p>◎安心安全で栄養も重視した給食の提供及び食育の推進 地産地消を心がけできるだけ国産(地域)のものを使用し、和食を中心とした栄養バランスの取れた食事を提供しています。また、食育を行うことで、食べ物の大切さや命をいただくことへの感謝の気持ちを持つことの大切さを伝え、給食の残食の減に取り組めます。</p> <p>◎質の高い乳幼児期の発達、ケア及び就学前教育・保育の推進 質の高い教育・保育を目指すには、その担い手を育成する必要があります。計画的に園外研修や園内研修で学び、日々の保育に生かしています。また、一人一人の感性や個性を大切にしながら自己肯定感を育んだり、遊びを通して豊かな感性や創造性を育んだりする中で、就学前教育・保育の充実を図ります。</p> <p>◎資源の無駄の減及び、自然環境の保全 水の大切さを子どもたちに知らせ、節水に取り組んでいます。また、園庭には蝶の食草も植え、蝶を呼び込んで自然を大切にする機会を作ります。</p> <p>◎太陽光発電を設置し、再生可能エネルギーの活用 太陽光パネルの設置やICT化でペーパーレスを推進、また、エネルギーを大切に使用するため、子どもも職員も節電に心がけています。</p> <p>◎働き甲斐のある雇用体制 ICTの導入によって業務の効率を図り、子どもと向き合う時間を大切にしています。また、保育補助も積極的に採用し、資格取得の支援を行っています。</p> <p>◎廃棄物のリサイクル 牛乳パックや段ボールなど、資源の再利用として保育で使う玩具は廃材で制作することを心がけています。</p> <p>◎平和の発信 慰霊の日に因み平和集会を行い、友達と仲良くすることや平和の大切さを伝えています。</p> <p>◎保護者・地域・専門機関との連携 持続可能な地域社会の実現に向け、家庭や地域、小中学校、行政、NPO法人などとの連携を図り、子どもたちの健全な育ちを支えます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
15	株式会社いいにおい 代表取締役山城 遥奈	<ul style="list-style-type: none"> ●つくる責任 つかう責任当社が提供するフレグランスのボトルは、沖縄県内で廃車になった車のサイドガラスを活用した 100%リサイクルのボトルです。 また、使用後もボトルを回収し琉球ガラス村さまと提携し再度新しいボトルとして再生します。 ●すべての人に健康と福祉を当社で販売するフレグランスボトルの売上の一部は、琉球ガラス村様を通して社会福祉施設に寄付されます。 ●パートナーシップで目標を達成しよう廃ガラスの収集を行っている拓南商事株式会社様、ガラスの加工を行っている RGC 株式会社（琉球ガラス村）様と協力して、ガラスのリサイクルに貢献します。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
16	一般社団法人いこいスタイル 金城 勇太	<p>いこい学童クラブ・いこい第2学童クラブの2つの放課後児童クラブを運営しています。主に小学校に就学している児童でその保護者が労働等により昼間家庭にいないものを対象とし、学校と家庭の橋渡しとして、放課後の生活を安全に安心して過ごせるように適切な遊び及び生活の場を与え、健全な育成支援を図ることを事業としています。</p> <p>■個々の個性を尊重し、「個」を大切にしています。子ども達が安全に安心して公平に過ごすことができるように、年齢、性別、性格などそれぞれの「個」を尊重しながら支援を行っています。</p> <p>■「じりつ（自立・自律）」を目的とした育成支援を心掛けています。子ども達の創造力や思考力など、考える力を育むと共に精神面の安定を図ることも意識しています。また、支援員も同様に各々の「じりつ」を目的とし、精神面の安定も図りつつ、働きやすい組織にするためのマネジメントを行っています。</p> <p>■体育サークルを通じて、外で身体を動かす機会を増加させ、健全な身体と精神を育むと共にスポーツ意欲の向上を図っています。また、地域の団体と連携し、専門的な指導と地域交流を行っています。</p> <p>■現在、支援員の男女比が男性4名、女性6名と男女ほぼ等しく、働きがいのある雇用体制を心掛けています。</p> <p>■持続可能な地域社会の実現に向け、保護者、地域、専門機関との連携を図り、子ども達の健全な育ちを支えます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
17	いこい整骨院金城勇太	<ul style="list-style-type: none"> ●あらゆる年代に健康を提供老若男女あらゆる世代に、痛みを解消する施術を提供したり、未来を担うスポーツをする子どもたちにケガしにくい身体作りを提供。 ●キャリア教育事業の協力南城市教育委員会の依頼から、キャリア教育事業に積極的に取り組み、職業講和や職場体験に参画して、子供達に仕事や身体について指導実施。 ●地域とのタイアップ 運動する機会を創出する団体「いこいスポーツクラブ」の活動。スポーツ SDGs として、行政や総合型スポーツクラブ・地域の事業所・アスリートのチカラ団体とタイアップして地域や経済の活性化に取り組む。 ●環境負荷を軽減する洗剤を使用 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
18	石垣島マラソン実行委員会 委員長 川満 誠一	<p>3. 多くの皆様にスポーツをする機会を提供し、目が不自由な方は伴走での出走が可能です。</p> <p>5. スタート前の日焼け止めサービスやフィニッシュ後のケアブースの設置で女性が参加しやすい大会を実施しています。</p> <p>7. 大会運営で使用するバイクをガソリン車から電動へと切り替え、CO2 排出量削減に取り組みます。また、バイオ燃料を使用した車両を導入し、新たなエネルギーの可能性に取り組みます。</p> <p>8. 完走メダルの製作を、就労継続支援施設に委託し、記念 T シャツやオリジナルマスクなど市内事業者に発注をかけ、党内消費を促します。</p> <p>10. 国内外地域に関係なく、16 歳以上であれば誰でも参加できます。</p> <p>14. 第 13 回(2015 年)大会より大会参加者へサンゴ礁保護募金を呼びかけ、集まったお金をサンゴ礁保護研究センターへ寄付し、環境保全へ役立てています。</p> <p>17. 島内在住で大会成績上位者を、友好都市の岩手県北上市で行われている北上マラソンへ派遣し、相互交流を行っている。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
19	㈱一興建 代表取締役 上原一	<p>○スポーツを通じた SDGs の達成を目的とするスポーツイベントへの支援、参画。</p> <p>2021 年 3 月に南城市のあざまサンサンビーチで開催された、JBV（日本ビーチバレーボール連盟）公認のビーチバレーの大会、「信頼・安心・満足」株式会社一興建 CUP に協賛。ターゲット 4.3, 4.4, 16.7 の達成に向けて、大会出場選手による地元の子供たちへのスポーツスクール、弊社代表の上原とデフバレーボール（聴覚障がい者のバレーボール）元日本代表の成木俊介選手による講演会を実施。現場の第一線で働く人間、デフアスリートの話聞くことによって、質の高い職業教育、スポーツの価値や多様性を感じてもらおう体験を与えた。</p> <p>また、2021 年 11 月にあざまサンサンビーチで行われた、第 8 回スポーツ SDGs ビーチフェスティバル in 南城に参加した子どもたちへ、ターゲット 3.9, 4.3, 4.4, 6.3, 11.3, 14.1 の達成に向けて、ユンボで軽石を除去させる職業体験会を行った。ユンボの操縦や軽石の除去に興味がある子も、ない子にも性別、年齢、関係なく体験をさせ、軽石に対して直接自分でアプローチをすることで、地元の海を、“地元の次世代の人間”で保全する意識を身につけてもらい、持続可能な海をつくる。また、ひょっとすると興味すらなかったかもしれないユンボの操縦をやることで、人間らしい仕事や新たなビジネスアイデアを生む創造力の発展を考え実施。</p> <p>このように、スポーツと言う汎用性の高いツールを使って、人や企業、行政を繋ぎ幅広いターゲットの達成を行なっている。</p> <p>○仕事と育児を両立できるような環境作り</p> <p>ターゲット 8.2 の達成に向けて我が社は、仕事と育児を両立できるような環境取り組みとして、男性育児休暇の推進や事務所へ子供と出勤できるなど、働きやすい多様性のある環境をつくり、業務の生産性を高めている。</p> <p>両立できることのありがたさ、子供と一緒に出勤できる安心さ、また親の背中を見せる機会があるということが、将来へ何か役立つものになるんじゃないかという声がある。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
20	株式会社 イバノ 代表取締役平良秀樹	<p>私たちイバノは、全従業員の物心両面の幸福を追求することを掲げ、安心・安全な食やサービスの提供を通して、お客様や地域社会に笑顔をお届けすることを誓います。そして常に感謝の精神で心を磨き続け、沖縄 21 世紀ビジョンである 5 つの将来像と SDGs17 の目標を実現するため、SDGs パートナーと共に感動的な価値を創造することを約束し、平和で豊かな美ら島、誰一人取り残さない持続可能な世界を目指します。</p> <p>■徹底した食品安全への追及食品製造業に携わる HACCP 認証の取得企業として、食品安全マネジメントシステムに即し、製造工程における定量的危害分析の重点管理を徹底し、商品トレーサビリティの確立を強化しています。</p> <p>■貧困対策について当社では地域社会問題に取り組んでいる沖縄県卸商業団地協同組合とパートナーシップを結び、団体を通して県内こどもの困窮問題に取り組んでいる沖縄子ども未来プロジェクトへの寄付や、小売店におけるフェアトレード商品を通して、公正な事業慣行のもと、貧困のない希望に満ち溢れた社会を目指し、次世代を担うこどもの輝く未来を支援します。</p> <p>■持続可能な地球のために、2050 年ネットゼロ社会を目指して当社としても地球の温度上昇を 1.5℃以内に抑える努力をして、未来ある沖縄の低炭素海洋島しょ社会の実現を目指しています。当社では照明設備の LED 化や営業用車両等のハイブリッド化の促進を進めています。また、関連会社と共にパートナーシップを結び、営業用車両の補修におけるリサイクル部品の有効活用への取り組みに賛同しています。</p> <p>■フードロスの縮小と持続可能なフードの拡大沖縄の観光業を支えてきた食品卸し企業として、環境負荷の低いプラントベース原料の調達にも取り組んでいます。取り扱っているプラントベース商品は、製造工程において発生する廃棄物を最小限に抑えた原料や、その他環境負荷の低いプラントベースフードの導入拡大を関連会社と共に順次進めています。また、フードロス対策として行き場を失った商品</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>の社内販売及び社内食堂への提供や、クラウドファンディングによるフードロスの削減に向けた取り組みを実施しています。</p>	
--	--	---	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
21	Event Planning Lee (ちゅいしーじーSDGs 実行委員会) 比嘉 利加	<p>できることをコツコツやる地道な努力が、すべての目標に到達していくと私は考えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・イベントを通して誰でも輝ける場所がどこかにあるという事を伝えます。 ・LGBTQ 活動でだれも取り残さないまちづくりをします。 ・大人も子どもも自分らしくいれる場所提供をします。 ・公共機関を推進し、CO2 の削減を目指します。 ・ゴミ拾い×運動(健康)×コミュニティをテーマにイベント開催。 ・地産地消を目指します。 ・沖縄の方言普及を目指します。 ・ものづくりで、ものを大事にする心と責任を創造します。 ・マイボトル・バック制など呼びかけプラスチック削減を目指します。 ・地域と連携し、居心地良いまちづくりに励みます。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
22	<p>農業生産法人有限会社稲穂</p> <p>代表取締役 新垣清一</p>	<p>・貧困をなくそう・飢饉をゼロに 農業に関わる法人の責任として「食」への貢献がある。</p> <p>沖縄の未来、将来を担わなければいけない子供たちには、食においても豊かな環境で将来性を育むことが重要である。</p> <p>しかし昨今の「貧困問題」や「コロナ禍による飲食店従事者家庭の減収」などによりその日の「食」に困る家庭の増加が避けられないのが現実である。</p> <p>近隣のそれらの単身家庭に対して、「子ども食堂」を実施し食事（お弁当の配布）の提供を行なっている。</p> <p>・つくる責任 つかう責任 ノニジュースを製造開始から26年目になるなかで、この間、より良いジュースの品質とその廃棄物の有効活用を探求してきた。</p> <p>製造過程で出てくる搾りかすを産業廃棄物として処理せず、養豚を開始し飼料として活用、さらにその養豚から出る糞尿を堆肥化してノニやマンゴーなどの果樹畑に施肥することで、「循環型農業」を実践している。</p> <p>その結果、ノニジュース工場から、養豚舎からも「産業廃棄物がゼロ」という目標も達成している。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
23	イノベスタ株式会社 代表取締役 CEO 根路銘一 亮	<p>私たちイノベスタは、沖縄県内企業とのパートナーシップにより、県産品の販売支援や環境・社会に配慮された商品の紹介を積極的に行い、沖縄経済や地域の活性化に貢献致します。</p> <p>■経済面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県内に限定した EC プラットフォーム（オンラインショッピングモール）の構築。地域で販売されるものを、その地域で消費することにより、地域経済の活性化につなげます。 ・コロナ禍などにより供給過多となった食品を、県内で循環させるビジネスモデルにより、フードロス削減に取り組みます。 <p>■社会面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中のワーキングマザー、ワーキングファザー、ひとり親世帯や外国にルーツを持つ方など多様な人材を受け入れます。また、テレワークや時短勤務など、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方を採用します。 <p>■環境面</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境に配慮した商品の販売、包装、配送に努めます。 ・地域特化型の消費活動により、運搬による CO2 排出を最小限に抑えます。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
24	株式会社 WAYNE CREATE 宮城 リチャード	<p>4- 44. 若者と成人の職業的スキルの大幅増加→今までプログラミングと無縁だった子供たちへ『こどもプログラミングスクール KidZ8(5歳 ~高校生まで総勢 200 名程在籍)』でのスクラッチ、Python 等の早期学習開始による修得及び習熟。又、グローバル力向上を目的とした microbit 導入で更に習熟機会の拡張に努める。出張授業やイベントなどのセミナー、無料体験学習など精力的なプログラミング普及活動により、多くの子供達に機会を設けている。</p> <p>5- 54. 無報酬の育児、家事労働を認識、評価する。→職場での職員児童預かりや同伴の許可、産休、育休制度の取り入れ。</p> <p>(SDGs の取組の社外・団体外への発信) 自社ホームページ (https://www.waynecreate.co.jp/company/)にて対外的に発信予定。 ※ホームページ改訂中。</p>	 

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
25	U-MUI Forest Villa Okinawa 代表取締役影山 邑佳	<p>弊社は広報部を筆頭に各部署長で構成する「U-MUI SDGs 推進本部」を設置し会社や提携企業の協力を得て SDGs を推進します。同推進本部の下、関係部署の連携を促進し 17 のゴールの中で多くの取り組みを行っていき段階を踏んで総合的な SDGs の推進を目指します。</p> <p>●自然環境の保全沖縄の観光事業の一翼を担う海洋資源は「人間の使い方」によって後世に豊かなものを残せるかどうか？が大きなポイントとなります。 私ども観光事業者は観光客に協力を仰ぐためのセールスができる立場にもあります。 「U-MUISDGs 推進本部」は海洋資源を守るための取り組みとして、世界的にも問題になっている脱プラを宣言し、お客様に提供するもの全てからプラスチックを排除しております。</p> <p>●子供の貧困対策沖縄の未来を担う子供達が夢や希望を持ち健やかに生まれ育ち豊かな発想や感性を育むために何が出来るのか？その答えは「経験すること」です。 「U-MUISDGs 推進本部」では関連施設でもあるプロアスリート専用のフィールドアスレチックを沖縄の子供達に無料開放し、スポーツを通じて礼儀礼節や結果を出すことの厳しさや努力することの素晴らしさを知って貰うことへの取り組みや、U-MUI ファームでの体験型農業で食への関心を誘発し、子育てセーフティネットを整備します。</p> <p>●安全な水とトイレを世界中にマイ水の登録（携帯アプリで見る水の提供施設場所）を行う事により健康促進のために行うランニングや自転車では水分を失い体調が悪くなる方もおられます。コンビニの普及がままならない私どもの地域においては必要必然の対策と考え、山田城の地下水をどなたでも立ち寄ることの出来る水飲み場として、休憩場所としてご利用いただけます。</p> <p>●飢餓をゼロに U-MUI ファームでの体験型農業で循環型農業に取り組み、沖縄の伝統的な野菜の栽培や売れ残った野菜を使い調理方法のレシピを発信する取り組みを行っていきます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
26	社会福祉法人 浦添市社会福祉協議会 会長 久貝宮一	<p>「全社協 福祉ビジョン2020」において、国が進めている「地域共生社会」の推進と、国際的に進められている「SDGs =誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂のある社会」を包含し、浦添市社会福祉協議会は、地域住民や関係機関と協働し</p> <p>「ともに生きる豊かな地域社会」実現を目指して多様な福祉実践を行います。</p> <p>【相談支援体制】(SDGs ゴール①、③、⑧) 地域住民の複合化・複雑化する困りごとに対し、福祉・医療・保健・教育などの多様な関係機関との連携、更には民生委員児童委員や地域自治会などと協力しながら市民の問題解決を図り、「断らない・誰も排除しない」相談支援体制の構築を目指します。</p> <p>【福祉のまちづくり】(SDGs ゴール①、③、④、⑪、⑯、⑰) 社会的孤立や貧困問題などの様々な地域課題解決にむけ、地域住民や福祉専門職、企業団体と協働した福祉のまちづくり(包括的支援体制)の構築を目指します。</p> <p>【福祉教育活動】(SDGs ゴール③、④、⑪、⑰) 学校現場や地域住民を対象に「ともに豊かに生きる力」を目的に、学校関係者や地域住民、ボランティアや当事者等と協働した福祉教育(生涯教育)を展開し、地域の多様な担い手の育成を目指します。</p> <p>【ボランティア市民活動の推進】(SDGs ゴール①、③、④、⑰) ボランティア・市民活動支援センターにて、ボランティア活動や市民活動に関する相談や情報提供、活動のコーディネートを行い、地域課題に応じた担い手の育成や、地域住民が生きがいを持って社会参加できるボランティア活動を推進しています。また、地域住民の見守りや困りごとのアンテナ役として「地域福祉協力員」の養成も行い、地域貢献活動の推進を目指します。</p> <p>【寄付文化の醸成】(SDGs ゴール①、②、③、⑫、⑰) 赤い羽根共同募金運動では、住民相互の助け合い、地域福祉の推進を目的として、ボランティア・福祉団体、学校、行政、地域企業等と協働し一丸となって運動を展開します。地域課題に応じた取り組みに対して募金を募る「テーマ型募金」など先駆的な取り組みを行っており、今後も地域における寄付文化の醸成し、地域での支えあいの仕組みの構築を目指しま</p>	

おきなわSDGsパートナーのSDGsへの取り組み

		<p>す。またコロナ禍における取り組みとして、フードドライブ活動を強化し、浦添市内の企業や市民へ広く呼びかけ、集められたコロナ禍で困窮している世帯等に配布していきます。</p>	
--	--	--	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
27	北谷町栄口区自治会島袋 艶子自治会長	<p>★栄口自治会の活動基盤として、「地域活性化」、区民の「健康増進」、「ユイマールの心」を柱に、誰一人取り残さない栄口地域と自治活動という強い意思の下、すべての人が平和と豊かさを享受できる自治会としての地域創生に邁進して参ります。近隣の小中高校、ユネスコスクール認定の北谷中学校と連携し、SDGs をさらに深く学ぶための ESD プログラムを地域の方々と連携していきます。</p> <p>●えぐち商店 ⇒栄口区独自の取り組みとして、毎週金曜日に開催している高齢者の買い物支援、地域の人々の居場所づくりに邁進すべく、2014 年から『えぐち商店』を開始し、2016 年「ちゃーがんじゅー地域モデル賞」、2019 年「第 12 回タイムス地域貢献賞」を受賞しました。フードドライブにおいては、栄口区内の未整備の土地区画を栄口子ども菜園として使用し、そこで育てた農薬不使用の野菜を提供していきます。</p> <p>●えぐち家ゆんたくカフェ ⇒高齢者の方々にとっての生きがいづくりと認知症予防のための居場所作りを行っております。地域が家族との想いで、ユイマールの輪を拡大しております。</p> <p>●自主防災訓練 ⇒住みやすい安心安全なまちづくりを促進するために、毎週の防犯パトロールや防災訓練に力を入れております。加えて、コロナ禍においては、北谷町災害対策本部長の野国昌春町長とニライ消防北谷消防署の協力の下、「リモート防災訓練」を開催しました。</p> <p>●えぐち祭り ⇒多世代・異世代交流を通して区民が繋がり、顔の見える関係づくりの場となっております。伝統芸能であるえぐち青年エイサーでは、地元や地域社会に貢献するリーダー育成、郷土愛を育む人材育成を行っております。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

●プランターガーデン見守りプロジェクト

⇒一家庭一鉢運動を実施することで、地域の見守りと顔の見える関係づくりを地域一丸となって構築し、少子高齢化社会から地域共生社会の転換を持続可能な SDGs 推進を通じて図っていきます。

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
28	株式会社 AHC 沖縄 代表取締役高村 明彦	<p>AHC 沖縄は、「持続可能な開発目標」に賛同し、持続可能な社会の実現に向けて、人や環境にやさしい健康的な暮らしを提案するとともに、SDGs を推進した住宅供給に取り組んでまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●省エネ住宅の継続供給 <ul style="list-style-type: none"> ・CO2 の排出削減を目指し、地球温暖化を住環境から食い止めます。 ・建築基準法の「F☆☆☆☆ (エフフォースター)」に対応した建材を使用する事でシックハウス症候群から身を守り、高断熱・高気密住宅とする事で、浴室等におけるヒートショックから命を守ります。 ・自然エネルギーを生かすプランづくりで健康的な暮らしを提案し、電気やガス等の使用量を減らす事で、家計の負担を減らします。 ●資格支援制度 <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得を目指す従業員に向け、経済的支援等を行います。 ●健康づくり <ul style="list-style-type: none"> ・全従業員に健康診断を実施し、インフルエンザ予防接種に加え、最近ではコロナ感染予防の観点から PCR 検査にかかる費用を全額負担する等、健康意識と安心感を持って働ける環境を目指しています。 ●地元スポーツ団体支援 <ul style="list-style-type: none"> ・琉球ブルーオーシャンズを継続支援し、地域のスポーツ文化振興とその先にある心身ともに健康的な未来を目指します。 ●ペーパーレス活動 <ul style="list-style-type: none"> ・重要書類等を電子化することにより、不必要な印刷を最小限に抑えます。 ●省エネ活動 <ul style="list-style-type: none"> ・クールビズを取り入れ、省電力に取り組みます。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>グループ企業や外部の企業・団体と連携し、地域に根ざした教育や人材育成、社会貢献活動を実施します。「人財育成」に関するノウハウと経験を活かし、パートナーとの協力で課題解決に取り組みます。</p>	
--	--	---	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
30	社会保険労務士江尻事務所 所長・江尻育弘	社会保険労務士事務所として、企業で働く人のメンタルヘルスケア対策や企業の労働時間管理サポート業務を行なっています。また、ジェンダー平等に基づいた就業規則の作成、企業のワークライフバランス制度導入、くるみん取得促進を行ないます。	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
31	株式会社エースガイド 代表取締役中村和正	<p>「野菜まるごとプロジェクト」の正規メンバーとして、野菜の皮まで美味しく食べる習慣を根付かせる事で、食品ロスの減少と、栄養失調の減少につなげ、健康寿命を延ばせる取り組みを実施して参ります。その結果、世界の食料安定につなげ、貧困・飢餓の減少に寄与できるよう努めて参ります。</p> <p>安全な殺菌・消毒として、口に入れても安心で、手荒れしない中性の殺菌料「ジアミスティ」を普及させる事で、ウイルスや細菌からからだを守り、誰もが健康に安心して生活できるような社会を目指していきます。</p> <p>多方面でのパートナーシップ実現により、沖縄の産業普及に貢献し、産業と技術革新の基礎ならびに、沖縄の経済成長を支援し、沖縄にて質の高い教育を施せるように努めて参ります。</p> <p>その他、利益の一部寄付や、社員含めた清掃活動、社内社外でのジェンダー平等の取り組みをし、人と地域と地球に優しくなれるよう努めて参ります。</p> <p>上記の取り組みにより、下記のゴールを目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貧困をなくそう 2. 飢餓をゼロに 3. すべての人に健康と福祉を 4. 質の高い高い教育をみんなに 5. ジェンダー平等を実現しよう 8. 働きがいも経済成長も 9. 産業と技術革新の基礎をつくろう 14. 海の豊かさを守ろう 15. 陸の豊かさも守ろう 17. パートナーシップで目標を達成しよう 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
32	株式会社 HPD コーポレーションル ネッサンス リゾート オキナワ 代表者知花 功	<ul style="list-style-type: none"> ● 海洋環境の保全を目的に、プラスチックごみの削減に積極的に取り組んでいます。再利用ができないマイクロプラスチックになってしまう、プラスチックストローの不使用はもちろん、客室のアメニティに関してもマイクロビーズフリーのアメニティを積極的に採用しています。 ● 恩納村「サンゴのむら」宣言の精神に賛同し、サンゴの植え付けに協力する 2030 年までに造礁サンゴ類被度 30%を達成する取り組みに協賛し、ホテルのプログラムとしても枝サンゴの植え付け体験の機会を用意し、海洋環境保護に対する理解を深めています。 また、恩納村主催のビーチクリーンに積極的に参加し、具体的に海の豊かさを守るために行動することを推奨しています。 ● ルネッサンスリゾートオキナワでは開業した 1988 年より同じシルバーカトラリーを大切に使用し続けています。シルバーは管理するのは難しい素材ですが、大切に磨けばずっと使い続けられます。プラスチックのように便利で管理も簡単な素材に依存せず、「沖縄の環境を守る」ということに取り組めます。 ● リネン類の不交換及びノークリーニングサービスを環境への観点からお客様に提案し、ご賛同いただけただお客様に対して館内利用券を配布する取り組みにより、リネンの洗濯にかかる電力資源・水資源の節約や排水による環境への負荷を削減する取り組みを行っています。 ● 地域の子どもたちへの教育機会の提供として、マナー講習や就業体験の受け入れなどを積極的に行っています。ホテルは様々な職種の集合体です。 職場体験ではいろいろな職の体験をする機会を提供することができます。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>また、職業人としてのホテルマンとして未来を担う学生の就業意識の醸成に貢献しています。</p>	
--	--	---	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
33	有限会社 FEC オフィス 代表取締役山城智二	<p>① 喜劇「あぎじゃび商店」【関連するゴール 5, 10, 16, 17】 →芸人の脚本・演出による喜劇。むずかしいテーマでもわかりやすく伝えることができます。これまで人権やジェンダーの理解につながる公演も行なってきました。</p> <p>② ビーチクリーン活動【11, 12, 14, 17】 →「美らビーチクリーン隊」として、県内各地のビーチクリーン活動に参加し海をきれいにするとともにその様子を SNS など発信して海の様子や活動を知ってもらう取組を行なっています。</p> <p>③ 難病情報誌「アンビシャス」の音訳、ライブ会場で募金箱の設置【3, 10, 17】</p> <p>④ 「おきなわこども未来ランチサポート」ボランティア参加【1, 2, 3, 12, 17】</p> <p>⑤ 芸人バスガイドで SDGs に関するバスツアーの企画・研修（電気バスを使用）【7, 12, 13, 17】</p> <p>⑥ 企業の SDGs に関する取り組みを漫才で紹介【17】</p> <p>⑦ 新聞記事の内容を SDGs の目標に当てはめてみる「なんでも SDGs」を実施【17】</p> <p>⑧ 「沖縄 21 世紀ビジョン」のイメージキャラクターとして県内の SDGs に関連する様々な取り組みを紹介【17】</p> <p>⑨ やぎのシルーによる絵本の読み聞かせ動画を、誰もがアクセスできるように YouTube で無料公開中【4】→ https://www.youtube.com/watch?v=BsXJG0n3_gs</p> <p>⑩ アスリートのセカンドキャリアをサポートする「株式会社沖縄スポーツマネジメント」の設立【3, 4, 8, 17】</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

- | | | |
|--|---|--|
| | <p>⑪ 平和や基地問題を考えるきっかけとなる舞台「お笑い米軍基地」【16】</p> <p>⑫ 本島北部や離島などに出張する「おでかけライブ」を実施【3】</p> | |
|--|---|--|

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
34	株式会社エフ琉球 代表取締役與那覇光廣	<p>1. 働きやすい環境づくり株式会社エフ琉球は女性スタッフの比率が高く、産休明けでも柔軟な職場復帰を積極的に推奨しています。また、沖縄ヤマト運輸サザンゲートとの協力体制や、国籍や人種を問わない採用も実施しております。ウォーターサーバーや機械生産導入も行い、働きやすい職場づくりを心がけています。</p> <p>2. エコキャップ運動ペットボトルのキャップはただ燃えるゴミに捨てるだけでなく、回収によって支援団体への寄付や震災時の寄付を行うことができるためエコキャップ運動も積極的に取り組んで参ります。</p> <p>3. 環境に対する取り組み段ボールリサイクル、ゴミの完全分別、CO2 排出削減、社用車ハイブリット化、LED 照明の切替、出勤管理を生体認証へ切替、ペーパーレスの為 iPad 導入と FAX メモリー受信・PC 直接送信等を行います。</p> <p>4. ペーパーレスエコロジーご注文商品の納品書を購入履歴などからお客様自身でご確認いただき、納品書の同梱をせず、可能な限り紙資源の節約を心がけております。</p> <p>5. 従業員研修制度スタッフの社内外研修を積極的に推奨しています。健康管理や業務関連の図書なども配布し知識の向上もサポートします。</p> <p>6. ちゅら海への思い沖縄では環境資源であるきれいな海がサンゴの白骨化により失われつつあります。エコキャップ運動や環境に対する取り組み等を徹底し、次世代へちゅら海を継承する為、率先して取り組んでまいります。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
35	NEC フィールディング株式会社 沖縄支店 支店長東脇 貴博	<p>◆事業活動を通じた SDGs への貢献</p> <p>【安全・安心・公平・効率という社会価値を創造し、誰もが人間性を十分に発揮できる持続可能な社会の実現を目指します。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社は約 60 年にわたり、ICT 機器の保守サービスを通してお客さまをサポートしてまいりました。弊社が提供する「価値」は、ICT だけでなく、ICT 以外の領域を通じて、お客さまとともに考え、悩み、お客さまのビジネスを支えるより良い仕組みへと改善することです。NEC フィールディングはこれからもお客さまのビジネスに必要な領域の設計から構築、運用、保守まで 24 時間 365 日トータルにサポートします。 <p>これらの事業がすべてサステナブルな社会への実現に貢献できると考えています。</p> <p>貢献事例：</p> <p>(農業協同組合さま)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・廃棄みかんの処理に「生ごみ処理機」を活用し、環境にやさしく、短時間で分解。 <p>(中古車の買取・販売会社さま)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・カープール用地の斜面を利用し、環境保全に貢献できる太陽光発電を導入 <p>◆企業活動を通じた SDGs への貢献</p> <p>【サステナブルな社会づくりに貢献する企業として、社会価値創造に向けた個人・組織の成長を実現する取り組みや、社会や環境に負の影響を与える可能性がある活動におけるリスク軽減にも積極的に取り組んでいます。】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ICT を活用した質の高い社内教育の実現 ・ 地域を支える企業として環境課題へ貢献 ・ 基本的人権を尊重し、人権啓発活動を推進 ・ ペーパーレス化の推進 ・ 働き方改革、ダイバーシティの推進事例 <p>1. 人財開発、人権、ワーク・ライフ・バランス、インクルージョン&ダイバシティ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 社員の子育て支援（「くるみん」認定／2021年6月23日に取得） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 働きやすい職場環境を整備することで全従業員が個人の能力を十分に発揮 ・ 女性活躍推進（「えるぼし」認定／2021年4月21日に取得） <ul style="list-style-type: none"> ▶ 「継続就業」「労働時間等の働き方」「管理職比率」「多様なキャリアコース」の4つの項目の基準を達成 	

おきなわSDGsパートナーのSDGsへの取り組み

		<p>2. NECグループの環境中期計画「エコアクションプラン」を基に年度目標の設定と実践。また、DXを活用し、お客さまの課題解決をお手伝いし持続可能な社会の実現を目指しています。</p>	
--	--	--	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
36	Emi-yell 株式会社 Anjel club okinawa 代表者名興山恵子	<p>■弊社の取組む 13 項目 3. 4. 5. 6. 8. 10. 11. 12. 13. 14. 15. 16. 17</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子供向けのアクティビティを野外で行う『アンジェルキッズ五感体験』を SDGs 主体で行う ・冒険や探検を通して年齢や性格に合ったミッションをクリアしながら感動や成功体験ができるような体験をプログラムする ・五感体験中はクイズやゲームで SDGs に関する絵本や参考書を読みきかせしたり、ビーチクリーンを行い、沖縄の自然と一緒に守り子供達の豊かな心を育む活動を行なっていく ・「子供」や「親子向け」のイベントを主催し告知や広報を村や県に協力を仰ぐ <p>■SDGs への社外発信や実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・弊社 HP 内で告知 ・Instagram のストーリーで五感体験の周知 ・恩納村のビーチにてビーチクリーン軽石除去活動 ・親子向けのイベントとして開催した「軽石除去イベント」60 名強の親子の参加があり、沖縄タイムスの取材を受ける <p>■沖縄 21 世紀ビジョンの将来像との関係</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な生物や亜熱帯の花や緑が島の美しさを引き立てる自然に囲まれた沖縄を子供達とビーチクリーンを一緒に行い守っていく ・性別、年齢、障がいの有無に関係なくあらゆる場所で活躍できる沖縄として率先して雇用促進を行う ・良い人材に対して、能力が発揮できるような機会や場を創る ・家庭と地域が連携して幼い頃より躾や道徳などの人間教育を行い心豊かな人間を育てる沖縄の地域側として子供達とふれあい色々な五感プログラムで人格形成期に関与する <p>【社内整備】 全スタッフに弊社の取組む 13 項目について研修や勉強会を定期的に設け、預かる子供の年齢や性格に合わせた教育を行う。</p> <p>【社外整備】</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

沖縄の大自然で体全体を使った遊びの中で SDGs が自然と理解できるように五感体験のプログラムを構成していく。

具体的には、水陸両方のキッズアクティビティを充実させ、綺麗な自然の中で得られる感動体験と成功体験を SDGs の学習内容と組み合わせてプログラムに盛り込んでいく。

見たことない、嗅いだことない、触ったことない、食べたことない、聞いたことない経験をプログラムした五感体験を弊社の取り組める SDGs の 13 目標と織り混ぜ体感型学習を行う。

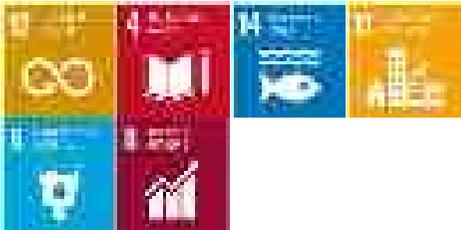
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
37	MRO Japan 株式会社 代表取締役社長中司直己	<p>《事業を通じて》世界の空の「安全」を支えるために</p> <p>■次世代育成持続可能な経済成長を遂げるために、幅広い世代への工場見学等各種体験機会やインターンシップをとおして、次世代の育成に取り組みます。</p> <p>■人材の育成・働き方改革 個性や能力を生かし、働きやすい・働きがいのある職場づくりを目指します。</p> <p>《社会貢献活動/地球環境へ》地域の皆さんに「信頼」される企業の取り組みとして</p> <p>■地域貢献工場見学の実施や社員食堂を通じて地産地消を推進するなど、地域の方々とのつながりを大切にする。</p> <p>■フードロスの削減社員食堂で昼食時に発生している食品ロスに対し、再利用等を検討し削減する。</p> <p>■豊かな自然を守る 他企業様と連携したボランティア活動を通して生態系の保護・保全に取り組む。</p> <p>■貧困をなくすために途上国支援を行うカフェと連携したオフィスコーヒーの導入など、各種支援活動や募金活動等を通じて、貧困や飢餓をなくす取り組みを検討する。</p> <p>■クリーンエネルギーの活用エコカーや太陽光発電システムなどクリーンエネルギーの導入および雨水の有効活用等を検討し、環境負荷の低減を図る。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
38	エレビスタ株式会社 代表取締役社長石野拓弥	<p>当社は持続可能な開発目標（SDGs）に賛同し、すべてのステークホルダーとともに達成に向けた活動に取り組んでいます。</p> <p>5：ジェンダー平等を実現しよう ライフステージの変化をサポートする施策をはじめ、性別を問わず優秀な社員がモチベーション高く、長く働き続けられる環境を整備しています。</p> <p>7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに 太陽光発電売買サービス「SOLSEL」をはじめ、エレビスタでは「エネルギープラットフォーム事業」を展開しています。業界全体の拡大を中心に考え、業界に関わる人・企業と協力し合い、再生可能エネルギー比率の向上にフォーカスしています。</p> <p>12：つくる責任つかう責任 たとえばペーパーレスの推進や、リモート率を 80%以上にすることでオフィス消費財の削減等、環境負荷の低減と事業活動の効率性を高め、持続可能な企業活動を推進しています。</p> <p>17：パートナーシップで目標を達成しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SDGs 情報メディア「Spaceship Earth」の運営を行なうことで、気候変動や持続可能な社会に関する現状を周知し、実際に気候変動対策に取り組むことのできるような機会の情報共有に努めています。 また、SDGs に取り組む企業や自治体、大学と協力してインタビューを行ない、SDGs 達成に向けたさまざまな日本の取り組みを拡散しています。 ・下記団体に加盟をし、気候変動や再生可能エネルギーである太陽光発電に対する理解を深めています。 <p>気候変動イニシアティブ（JCI） Science Based Targets（SBT） 一般財団法人 新エネルギー財団 太陽エネルギーデザイン研究会 太陽光発電所ネットワーク J-PITA（日本太陽光発電検査技術協会） JPMA（太陽光発電安全保安協会）</p>	   

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
39	有限会社エレメンツ 取締役 普久原 誠	<p>有限会社エレメンツは、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① プリント事業(オリジナルTシャツ等印刷物全般) ② 国際事業(米軍基地内の施設営繕管理) ③ 代理店事業(小型ろ過装置等) ④ イベント事業(地域のイベント企画・運営) <p>の4つの事業がある。 主にプリント事業を中心に業務を行っている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリント事業(オリジナルTシャツ等印刷物全般) ●つくる責任、つかう責任顧客のオリジナルTシャツを製作しておりますが無駄の無いよう、必要な商品を必要な分だけ製作しております。また、化学肥料や農薬を一切用いずに栽培されたオーガニックコットン生地を取り扱い、水質や土壌の汚染を防ぎ、地球の温暖化のリスクも減らすことを目指します。 ・代理店事業(小型ろ過装置等) ●住み続けられるまちづくりを / 海の豊かさを守ろう安全な水とトイレを世界中に水がひけない、排水が出せない、水の運搬が難しい場所で活躍する循環式手洗いユニットや小型ろ過装置の普及を目指す。 ・イベント事業(地域のイベント企画・運営) ●質の高い教育をみんなに / 海の豊かさを守ろう 地域のイベントなどでゴミをアートに表現し可視化による意識をイベント内で行う。 ・社内全体として ●働きがいも経済成長も同一労働同一賃金の徹底を行い、就労時間の管理徹底も同時に行う。また、働き方改革も積極的に推進する。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
40	株式会社オーエスディ ー代表取締役久高 唯明	<p>私たちは“つなげる、つづける、まちづくり。”をコンセプトに SDGs の達成に向けて取り組みを続けます。</p> <p>○働きやすい環境へ 全従業員の福利厚生充実や健康管理の推進、風通しの良い環境づくりを続けます。</p> <p>○住みよい地域へ 1 教育支援活動への寄付や食料品の寄付を通して安心して学べる場所を増やします。 2 サポーターとして子どもから高齢者、障がい者のある方々を地域で見守る活動を支援します。</p> <p>○自然環境の保全と回復 1 太陽光発電を利用した再生可能エネルギーの活用。 2 建築物の木造化を推進し森林資源の循環利用を図る。 3 地域の清掃活動を行い自然環境の保護や、ゴミの分別再利用を推進する。</p>	  

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
41	株式会社 OFM 代表取締役喜友名秀樹	<p>■ 飲食業界をけん引する企業の育成飲食店の各種コンサルティングやサポートによる、弊社のノウハウ拡散を行っております。さらに、最新の技術が結集された商材を販売し、「飲食業界に革命を起こす」を合言葉に、業界全体の発展を担う企業を目指します。</p> <p>■ 環境に配慮した商材の販売有害な化学物質を一切使用していないクリーナーや消臭剤など、環境にもやさしい商材を販売・推進しており、生活排水を綺麗な海・川などの環境保全と改善に繋げる取り組みを行っています。</p> <p>■ コロナ感染症対策県内市町村からの依頼を受け、感染症対策事業の資材搬入事業者として自動検温付き消毒ディスペンサー・消毒液・マスクといった感染症対策資材を企業や事業所へ納めております。</p> <p>■ 地域社会貢献小学校・幼稚園などに非接触型体温計・マスク・消毒液を寄贈しました。また、小学校のバスケットボール大会、イベント、交通安全運動、見守りパトロール活動等の開催・参加を通じ、地域の発展と活性化に繋げる取組を行っています。</p> <p>■ 油を通じた健康や人種の多様性への対応最新型フライヤーを販売することにより、油の無駄遣い（フードロス）を抑制しつつ、身体に良い油で料理を提供できる仕組みづくりを行っています。また、誰もが平等に食を楽しめる社会を目標に、ハラル認証を取得した油の販売も行っております。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
42	株式会社 大川工業 代表取締役大宜見正	<ul style="list-style-type: none"> ●質の高い教育をみんなに <ul style="list-style-type: none"> ・設備工事業を通して職場環境の課題に取り組む人材育成のため、社内外での研修の実施、資格取得時には合格祝い金を支給し、資格取得促進に取り組みます。 ●エネルギーをみんなに そしてクリーンに <ul style="list-style-type: none"> ・省エネ機器及び節水機器を積極的に採用します。 ●働きがいも経済成長も <ul style="list-style-type: none"> ・ライフステージの変化、能力に見合った賃金を支給します。 ・DX 化のツールを導入し、残業時間の低減を推進します。 ●つくる責任 つかう責任 <ul style="list-style-type: none"> ・現場にて撤去したものはリサイクル可能なものと廃棄物に分別し、廃棄物の処理は法令に則り適切に処分することで環境への影響を最小限に留めます。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
43	株式会社 OK 観光 代表取締役 辛正民	<p>【環境にやさしく】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ドライバーが環境にもお客様にも優しい運転を心がけています。日常的な点検整備はもちろん、アイドリングを無くしたり、急発進急加速のないふんわりアクセルを心がけています。このような日常の業務からドライバー1人1人がエネルギーを大切にし、省エネ活動を実施しています。 <p>【みんなが働きやすい社会に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎月の乗務員教育等、社員教育に力を入れています。資格取得も推進・バックアップしています。 ・ポジティブアクションの実施やハラスメントマニュアルの作成等、性別や年齢・国籍・学歴を問わず働ける環境を整えています。 ・育休・産休から復帰しやすい職場環境づくりを目指すなど、女性の働きやすさを整備しています。 <p>【健康的に】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策を徹底し、お客様と従業員すべての人の健康作りを目指しています。運行前には乗務員の検温・健康チェック・車両消毒等を行い、運行中待機時にはその都度こまめな車内換気を行っています。運行後も車内の消毒、お客様への検温・マスク着用・手洗い消毒を行っています。また運転席にはアクリル板を設置し、事務所内にも低濃度オゾン発生器を取り入れ、感染予防対策には万全を期し全社員で取り組んでいます。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
44	<p>株式会社 大田製靴店</p> <p>代表取締役 大田守誠</p>	<p>・大田製靴店は創業以来93年間、靴を通して県民のあしもとを支えてきました。現在は靴だけでなく、病気や怪我、障がいが原因で足に問題を抱えている方の装具も積極的に製作しています。装具を必要とする人が仕事や学業などの社会で、不自由することなく生活でき、身体的な障がいが社会的な障害や孤立を生むことのないよう、装具を通して社会参画をお手伝いします。</p> <p>しかし、義肢装具に関する法律や制度は十分に認知されておらず義肢装具を必要とする方々へ情報が届いていない問題があります。必要な時期に適切な義肢装具の提供ができていない状況は、業界内でも「装具難民」という言葉が用いられているほど深刻な課題とされています。義肢装具製作に関わる全ての人（医療従事者、患者、家族、自治体等）に、法律や制度の仕組みを届けるために社会福祉・地域医療を通して、全ての人々の相談窓口となれるよう情報の発信、勉強会等の活動をしています。</p> <p>・働く社員の技術・知識・経験をより豊かにさせるために、社外研修や学会等に参加しやすい環境づくり、新製品、新技法などの創意工夫も積極的に支援しています。</p> <p>各々のスキルアップのための技術・知識の伝承もしています。スキルアップにより質の高いサービス提供が可能となり、また、働く本人の仕事へのモチベーション向上にも繋がります。</p> <p>また、県内唯一の女性シューズパタンナーが在籍し活躍しています。仕事と家庭を両立させ、年齢や性別を問わず、皆がより長く安定してその人らしい生き方と働き方の環境づくりに務めています。</p> <p>・装具を必要とする人、弊社で働く人、みんなが個々の能力を発揮出来るような場を、靴や装具を通して提供し、誰ひとり取り残されることなく生きがいを感じられる様、活躍できるダイバーシティ・バリアフリーに取り組めます。</p>	  

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
45	有限会社 大里建設 代表取締役 大里 光明	<p>弊社では『私達が目指す SDGs 17 のゴール』を掲げ取組むとともに、現在施工中の作業所では以下の項目を重点的に取組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境保全の為、赤土等流出防止対策の徹底、工事で使用する建設機械は低燃費、排出ガス対策低騒音型を導入、再生路盤材等再生資源の積極的使用、作業員休憩所には電源を必要としないソーラーハウスや工事進捗確認や安全確認を行うソーラーカメラ、夜間の防犯対策としてソーラー防犯灯の設置。 ・働きがいのある職場作りを目標に完全週休二日制の実施、新技術(情報化施工)の導入、建設キャリアアップシステム(CCUS)の事業所登録運用。 ・地元中学生や高校生を対象とした職場体験学習や現場見学会の実施。 ・地域や地域住民、受益者に寄り添った地域貢献活動の実施。 <p>弊社 HP https://oozatohsm.wixsite.com/website</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
46	株式会社OCC 代表取締役天久進	<p>沖縄県初の電算コンピュータ会社として、地方自治体や諸団体、企業、アジア諸国に対してコンピュータサービスを提供して参りました。 「誰一人として取り残さない」社会を目指すための「持続可能な開発目標 (SDGs)」について、以下の取り組みを実施しています。</p> <p>■ミャンマーOCC事業 (8, 17) 2015年よりミャンマー国との国際交流を開始し、2018年にはミャンマーOCCを設立しました。ミャンマー国仕様 IT 製品のローカライズや日本国向けオフショア開発により IT 技術移転や IT 人材教育などの国際化支援を行っています。ミャンマーOCCを中心にして、ASEAN 諸国への IT 技術や IT 人材育成等による開発途上国支援を継続強化していきます。</p> <p>■スマート水道事業 (6, 9, 11) スマート水道という自動検針システムの開発・導入を県内で進めております。本システムにて水道使用量をデータ化することで、家庭水道の漏水量の見える化による節水の促進や、水道水の地域全体の断水等が検知できることにより、水の効率的利用向上につながります。水道水設備基盤強化を図り、スマートな都市形成に寄与し、水道インフラの持続化を可能にしていきます。さらに、スマート水道の使用量データを用いて地域住民の見守りについても取り組んでおります。</p> <p>■海ブドウ IoT 事業 (9, 14) 海ブドウの養殖は海洋負荷が無い陸上での海産物生産として、水産資源の保全と保護に貢献しております。開発した海ブドウ IoT システムは、CO2 を海ブドウが効率的に吸収することで、海ブドウの生育が促進する。という研究結果を活用し、収穫量を増加させるものです。 火力発電所等から排出される CO2 を活用することで外からのエネルギーに頼らない仕組みも見込んでおります。 海洋資源である海ブドウの水産養殖の経済的利便性と海洋の健全性の改善に向けた持続化を図っていきます。</p> <p>■データセンター事業 (9, 11) 沖縄 21 世紀ビジョンの実現に向けて公設民営の沖縄情報通信センターより IT インフラから IT サービスまでお客様のニーズに合わせたデータセンターサービスを提供しております。 セキュリティ面の充実やエネルギー効率を考慮したグリーンデータセンターという特徴により、今後は様々な社会インフラ基盤を集積することで、スマートな都市形成に</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>寄与していきます。これら開発・運用技術は開発途上国への技術イノベーション支援や経済・社会・環境面における都市強靱化の支援へと繋げてまいります。</p>	
--	--	--	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
47	<p>株式会社オーディフ ホールディングス代 表取締役社長村野 勝子</p> <p>【関連グループ】</p> <ul style="list-style-type: none"> 株式会社オーディフ 南天 Okinawa 株式会社 	<p>「食を通して」社会に貢献する</p> <p>【食育活動の推進】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●幼少期から青年期への食育が最も大切な事と考え、こども園園児・小学校児童・中学校生徒・高等学校生徒に対して栄養バランスや食に関する基礎知識を身に付け、肥満や生活習慣病にならないような食事習慣の教育を実施することで健康寿命の延伸を目指した食育の推進。 ●地元沖縄の郷土料理を給食献立に取り入れ、調理実習・講話を通して伝統食文化の継承を伝える取り組み。 <p>【誰でも活躍できる職場づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●給食事業における女性・高齢者の雇用促進と働き甲斐のある職場の提供。 ●男女ともに育児休業取得の推奨。適正人員を確保することで育児休暇を取得（申請者 100%取得実績）しやすい職場環境の整備（産前産後休業・育児休業の取得の男女比率は女性が 54%、男性が 46%（2021 年 11 月時点）、育児休業後の復職支援（時短業務や補助業務に配置するなど）。 ●調理師試験受験者に対する社内勉強会の実施（過去 6 年間で 112 名の免許取得者を輩出）、また中型車両免許の取得費用を補助し、従業員の専門的スキルの向上。 ●雇用の安定やワークライフバランスを保持するために、永年勤続者の表彰や出産祝い金などを支給。 ●産業医との健康面談及びカウンセリングを実施し、従業員の健康状態について相談しやすい環境づくり。 <p>【食を通じた地域貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ●自治体及び各種団体に対する「こども育成支援金」の寄付。 ●こどもたちへの無償食事提供（年間 1,000 食以上）と備蓄食の無償提供（年間 2,000 食以上）。 ●ファイトケミカルを多く含む栄養豊富な人参や玉ねぎの皮などを加工し、こども園のおやつ等で提供（フードロス削減への積極的な取り組み）。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
48	株式会社 OPG 代表取締役 大塚 健一郎	<p>1、 地域住民参加型、ビーチクリーン&マリンレジャーを組み合わせたツアーの実施慶良間諸島の無人島に上陸し、島内のゴミ拾い活動を行いキレイにした海でマリンレジャーを楽しんでもらう独自ツアーの実施</p> <p>2、 サンゴ礁や水中生物、地球環境に悪影響を及ぼさない行動の推進サンゴや海洋状況に悪影響を及ぼさないように「海洋生物への餌付けの禁止」、「サンゴ・海洋生物などへのノータッチマナー」「海に優しい日焼け止めの使用推奨」などを、ツアー前にすべてのお客様に説明し、海に優しい遊び方の説明の実施。また係留ブイを使用及びダイバー潜行による設置、海へのゴミ・吸殻のポイ捨て禁止、トイレ使用時にトイレトペーパーを便器に流さないことや、リサイクル活動とし積極的にエコキャップ運動も実施</p> <p>3、 働きやすい環境作り産休育休取得のしやすさに努め、復帰後の働き方でも能力を活かせるよう環境整備の実施、PC を支給し自宅からでも仕事ができる環境へ変化させ、生産性を向上させながらリモートワークを推進する取り組みの実施、離島に住む人材も雇用中</p>	

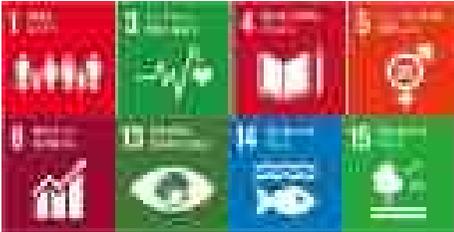
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
49	株式会社御菓子御殿 代表取締役社長 澤岷 英樹	<p>【地域との連携による取り組み】 「元祖紅いもタルト」は1986年に読谷村の村おこし事業から誕生しました。現在、140戸以上の農家から紅いもを仕入れており、地元の農業者と有機的に連携し、それぞれの経営資源を活用して農商工連携の推進により地域活性化に取り組んでいます。</p> <p>【安心安全な商品作りへの取り組み】 菓子製造工場ではISO、HACCP手法を導入し、安心して食していただける安全な商品を提供しています。「元祖紅いもタルト」は無添加無着色にこだわり、沖縄の素材を活かした沖縄発の銘菓づくりに取り組んでいます。</p> <p>【環境負荷低減への取り組み】</p> <p>① 「元祖紅いもタルト」の製造工程において、大量の紅いもをペーストに加工しているため、紅いもの皮の残滓が発生します。 微生物の力で分解し消滅させる「生ごみ処理機シンクピア」を導入して廃棄する残滓の減量化に繋がっています。</p> <p>② 再資源化の取り組みとして、処理できなかった紅いもの残滓物を家畜の飼料としての活用を推進しております。紅いもを含む飼料で飼育された養豚のお肉をレストランでの料理提供や、紅豚を使用したレトルトカレーを販売し、農畜産物資源の食品リサイクルに取り組んでいます。</p> <p>③ 食品ロス削減の視点から包材レベル等の改良をし商品の賞味期限について見直しを行い、ムダな廃棄の抑制対策の実施をします。</p> <p>④ 製造工場では太陽光発電システムを導入し、照明はLEDへの取り換えを進めており、環境負荷の低減に努めています。</p> <p>⑤ エコバッグ、布製のトートバッグの販売や、特典としてお箸をプレゼントすることで、来店するお客様へエコ意識の啓発に努めています。</p> <p>⑥ 地球環境に優しいバイオマス素材を活用することや過剰包装の改善に努めていきます。</p> <p>【人材育成・食育の取り組み】</p> <p>① 大型店舗にはお菓子の製造工程の見学や、社会科見学の受入れ、講話活動など就業前の職業選択に資する取り組みを実施しており、ものづくり次世代の育成を行っています。</p> <p>② お菓子作り体験や、ケーキデザインコンテストでは食への関心を高めてもらえるように「消費する意味」を啓発する食育プログラムを実施しています。</p>	

おきなわSDGsパートナーのSDGsへの取り組み

		<p>③ 食を通じた学びの提供として商品を福祉施設や子供食堂等へ寄贈しています。</p>	
--	--	--	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
50	株式会社オカノ 代表取締役社長 興儀 盛輝	<p>当社では各種事業と地域貢献活動を通して、経済・社会・環境に関連する SDGs 活動の推進に取り組んでまいります。</p> <p>〈 経済 〉 働きやすい職場環境づくりとして、残業低減、連続年休の取得、ノー残業デーを実施しています。2017 年には、ひやみかち健康経営宣言に登録、毎月発行の社内誌では健康推進の情報等を発信し、健康経営を目指しています。</p> <p>〈 社会 〉 赤い羽根共同募金、沖縄子ども未来県民会議等への募金を通して、各団体への支援を行っています。 学びの場の提供として、当社の専門性を活かした高圧ガス取り扱い講習会の実施、医療機関における医療ガス保安講習会、子ども向け化学実験、インターンシップの受け入れ等にも積極的に取り組んでいます。</p> <p>〈 環境 〉 2009 年、エコアクション 21 の認証を受け、エコ活動を継続しています。地域貢献活動では、会社周辺と近隣の公園清掃、ビーチクリーン活動等、協力会社も含めた活動を実施しています。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
51	株式会社オキセイ産業 代表取締役社長瀬長 司	<p>●地域のトップランナーとして、循環型社会の構築に貢献します。沖縄の海と山を守るため、島内で資源循環させることが重要です。 当社は、廃棄物と真面目に向き合い、最も適切で安心な処理を行います。 ISO14001 の認証を行い環境への配慮を行っています。学校や企業などの見学を積極的に受け入れています。また、自然エネルギーの普及のため、2030年までに RE100 を目指しています。</p> <p>●地域社会に貢献します。 地域清掃、子どもたちや高齢者の見守り活動、不法投棄パトロール、寄付など地域社会に貢献します。</p> <p>●従業員が働きやすい環境を整えています。 当社では、国籍、男女、LGBT+に関係なく、平等に働きやすい環境を整えています。健康診断の受診やシングルマザー、シングルファザー、家族の介護等、家庭事情に合わせた労働環境を提供しています。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
52	<p>一般財団法人沖縄 IT イノベーション戦略センター (ISCO)</p> <p>理事長 稲垣 純一</p>	<p>【SDGs 宣言】 私たちは、沖縄のすべての産業の発展に貢献し、共に未来を創造します。</p> <p>【具体的な取組】</p> <p><u>1. 地域経済発展への貢献</u> IT イノベーションによる成長戦略の提言、国内外の自治体や産業支援機関等との交流・連携等により、沖縄県の産業全体の振興に貢献します。</p> <p><u>2. 地域社会活性化への貢献</u> 最新の IT 技術を活用し地域社会の課題解決に取り組み、持続可能なまちづくりに貢献します。</p> <p><u>3. 人材の育成と確保</u> 未来の IT 人材等を安定的に創出し、多様な人材の育成・確保を推進します。</p> <p><u>4. 働き方改革の推進</u> 職員が働きやすい環境を整備し、ワークライフバランスの実現に取り組みます。</p> <p><u>5. 地球環境への配慮</u> 組織運営において、CO2削減・ペーパーレス化等を推進し、地球環境保全に貢献します。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
53	<p>沖縄アイランドクルー</p> <p>代表取締役山本浩二</p>	<p>1. <u>ノータッチマナー</u>海洋生物へのノータッチマナーとして以下のことをスタッフが遵守し、ツアー前にすべてのお客様にご説明し、海洋生物を傷つけない海の遊び方を広く世界に周知します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サンゴを踏まない・立たない・蹴らない・触らない ② 海洋生物に触らない <p>2. <u>餌付けの禁止</u>世界でも問題になっている生態系への悪影響、魚たちの攻撃性増長、水質汚染といった海への悪影響の観点から、サンゴ礁へのダメージにつながる餌付け行為について、ツアー中では行為自体を禁止するとともに、禁止理由を説明することで「餌付けしない海遊び」を推奨し、海洋生物と共に生きる暮らし方を知る人を世界に増やします。</p> <p>3. <u>ビーチクリーン活動</u>月1回、沖縄本島北部エリアのビーチのゴミ拾い活動を行い、美しいビーチの維持を図ります。</p> <p>4. <u>海に優しい日焼け止め使用の推奨</u>サンゴの白化・損傷の原因となる「オキシベンゾン」と「オクチノキサート」を含まない日焼け止めの使用をすべてのお客様に推奨し、海況環境への悪影響の広がりを防止する啓蒙活動を行います。</p> <p>5. <u>サンゴを守る船上行動の徹底</u>サンゴや海洋状況に悪影響を作らないために、船上で以下の行動を徹底します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① サンゴを傷つけない船の錨の設置 (係留ブイの使用 or ダイバー潜行での岩場への設置) ② 海へのゴミ・吸殻のポイ捨て禁止 ③ ツアー参加者の持参飲食物のゴミをスタッフがすべて回収することによるゴミの投棄未然防止活動 ④ トイレ使用時にトイレトペーパーを便器に流さない 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
54	<p>沖縄医療生活協同組合 理事長 上原昌義</p>	<p style="text-align: center;">沖縄医療生協の SDGs 行動宣言</p> <p>私たち沖縄医療生協は「健康をつくる。平和をつくる。いのち輝く社会をつくる。」理念のもと持続可能な開発目標の達成に貢献し、持続可能な社会の実現に努めていきます。私たちは以下 6 つの行動目標を掲げ、SDGs に貢献することを約束します。</p> <p>沖縄医療生協の SDGs 行動目標</p> <p>① 健康づくりをすすめますまちかど健康チェック、健康サポーター養成講座、健康づくり教室、すこしお（減塩）、親子で取り組む健康づくり、健康チャレンジ、健診活動</p> <p>② 多様な人々が暮らしを支え合うまちづくりに協同して取り組みます班活動・支部活動、清掃ボランティア、居場所づくり、地域見守り安否確認活動、くらしと社会保障制度の充実・改善の活動、自治体キャラバン</p> <p>③ 誰一人取り残されない公正な社会をつくるために、貧困や暮らしの問題に取り組めます</p> <p>安心してくらする社会保障制度の充実と制度改善、子ども食堂、生活相談、無料・低額診療事業・ジェンダー平等の実現</p> <p>④ 環境を守り、再生可能エネルギーの利用をすすめます地域の諸団体と連携し、組合員とともに省エネ環境保全型社会に向けた活動の取り組み、マイバック運動の推進、廃棄物・プラスチックごみ等の削減とリサイクル、地球温暖化を防止するために太陽光など再生可能エネルギーの利用、事業所で使用する電気などのエネルギー使用の削減を進め LED 化の推進</p> <p>⑤ 平和で持続可能な世界をめざし、沖縄の平和を守る活動をすすめます沖縄戦の戦争体験を後世に継承させていく取り組み、平和と憲法を守るために諸団体と連携・「エンパワーメント」を図るために平和で公正・平等な社会づくり</p> <p>⑥ 持続可能な事業所を発展させます働き方改革を推進し、労働環境を整え、働きがいのある事業所としてさらに発展させます。専門性を高め、様々な共同を通し</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>て保健・医療・介護・福祉をすすめ、「医療生協の地域包括ケア」を広げます。医療生協を担う地域組合員、職員組合員が、力をあわせて「いのちは平等である視点から」質の高い医療・介護・福祉を実践します。</p>	
--	--	---	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
55	一般社団法人沖縄オープンラボラトリ 代表理事 伊藤 幸夫	<p>(1) 公共データのオープン化、データの利用促進活動 OTTOP (Okinawa Transit and Tourism Open data Platform) というオープンデータ利活用プラットフォームを構築し、沖縄県内の公共交通情報や公共性の高い観光情報をオープンデータとして整備し公開しています。沖縄県内の公共交通機関を始め、地場企業、団体と連携し、公共性の高い”地域”の情報資産を“地域”のために残していくための・データのメンテナンス、利活用促進のためのコミュニティづくりを進めています。</p> <p>(2) 市民協働による地域課題解決のためのシビックテック活動 2014 年より市民参加・市民協働による地域課題解決のためのシビックテック活動を行っています。活動のテーマとして SDGs を取り上げ、新たな気付きから ICT 活用を促進するという取り組みです。これまで、観光、ヘルスケア、教育、街作り等の広範なテーマにわたって知見を高め、理解を深める活動を行っています。また、沖縄での活動を全国に知ってもらうために、「アーバンデータチャレンジ」や「シビックテックフォーラム」などにも参加しています。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
56	株式会社 沖縄環境保全研究所 代表取締役平良辰二	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルスPCR検査・・・福祉の充実及び健康長寿に貢献すべく令和3年1月よりPCR検査を本格始動。 ●各種作業場における作業環境測定・・・特定作業場に従事する作業者の健康管理に貢献すべく作業場の環境測定を実施。 ●沖縄県特有の環境問題に特化した環境学習の実施・・・赤土等流出防止対策支援事業において次世代を担う小学生を対象に赤土問題及び対策について出前講座を実施 ●工事業者への環境教育の実施・・・公共工事を実施するにあたり工事業者を対象に環境教育（希少種のレクチャー、効果的な赤土対策） ●安全な飲料水を提供すべく各自治体の水道水質検査を実施 ●地域の環境保全に貢献すべく下水処理場及び工場・事業場からの排水の水質検査を実施 ●電源開発（風力発電所等）環境配慮事項の検討 ●ワークライフバランスの取組みを推進 ●各種開発に伴う環境アセスメントの実施●返還跡地利用に関する各種調査（生物/景観/生態系/土壌/地下水/交通量/騒音振動） ●ISO14000 登録●廃棄物処分場の環境測定 ●気候変動対策に必要な各種調査（風速・気温・日射量等） ●海岸漂着物モニタリングの実施●赤土等の海域への流出状況把握調査の実施 ●希少野生生物の保護推進事業 ●希少野生生物の保護推進事業●第3次沖縄県環境基本計画の作成 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

●第3次沖縄県環境基本計画の作成

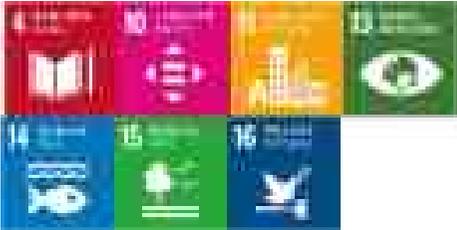
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
57	株式会社 沖縄環境分析センター 代表取締役社長渡久地 博之	<ul style="list-style-type: none"> ● 「安全な水の確保」水環境調査を通して、水資源の保全・再生の提案を行うとともに、国際規格に適合した水道水検査試験所として、市町村水道水検査を実施しています。このことにより、県民や観光客のための安全な水の確保を行います。 ● 「海と森（山）の豊かさを守る」 公共団体や民間からの各種の依頼業務を通して、陸域生態系及び海域生態系の保護・保全を図り、「森林の保護」、「緑化木の保全」、「サンゴの再生」、「外来種の侵入防止」等に取り組んでいきます。 ● 「環境方針（2019年4月制定）」の励行 <ul style="list-style-type: none"> ・法令順守による環境マネジメントシステムの維持・管理、継続的改善に努めます。 ・環境調査・分析・測定及び地域環境づくりを通じ、環境の保全と保護に努めます。 ・3R(リデュース、リユース、リサイクル)を推進し、循環型社会形成に努めます。 ・地球温暖化防止のために、電力や空調、照明などを節減し、エネルギー削減に努めます。 ・社会貢献の一環として、本社および周辺道路の清掃活動を実施し、地域社会へ貢献します。 ● 「経営方針（2019年4月制定）」の励行 <ul style="list-style-type: none"> ・お客様へ正確で信頼ある情報を提供する。・社員ひとりひとりが知識と技術を向上させる。・社員の幸福と事業の継続的な成長を目指す。 ● 「働き方改革、平等」の実践当社は、「沖縄ワーク・ライフ・バランス企業」に認定されています。ジェンダー育休、フレックスタイムの導入、介護休、育児短時間勤務の導入、社員の健康診断受診、年次有給休暇取得の促進、所定外労働の削減等の措置を実施しており、2030年に向けて、男性育休取得率向上や育休・介護休等の取得率向上を目指します。 <p>(SDGs の取組の社外・団体外への発信) 当社ホームページにおいて、次の情報を発信しています。 【https://www.oeac.co.jp/】</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

- | | | |
|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none">・「SDGs こどもネット相談室（みんなの Q&A）」→こどもからの質問を通して、2030 年の地球環境を考えるコーナーです。2030 年には“おとな”になっている小中学生と、SDGs について考えたいという思いから、このコーナーを作りました。地球の健康診断をしている環境分析のプロと一緒に、2030 年の地球環境を考えます。・「SDG s ギャラリー」→当社の SDGs への取組みを画像や動画で紹介します | |
|--|---|--|

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
58	<p>沖縄ケーブルネットワーク株式会社</p> <p>代表取締役社長大熊茂隆</p>	<p>沖縄ケーブルネットワークでは、沖縄県における SDGs 基本理念のもと以下の取り組みを実施・推進しています。</p> <p>○当社独自チャンネル「テレビにらい」の放送を通し、下記に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域文化の継承への取組 (例：しまくとぅば大会の放送によるしまくとぅばの普及推進) ・教育環境の提供、教育格差の是正 (例：教育番組「熱血教室」の無料放送による教育機会の創出) ・おきなわの本島・離島の番組を制作・放送し、おきなわらしい自然と歴史、文化の普及、および、海と陸の豊かさを守る意識の向上 <p>○データ放送やスマホアプリを通し、気候関連災害や自然災害に対する情報を提供し、「防災・減災」への早期対処を促進、ひいては、地球温暖化防止への啓発を推進しています。</p> <p>○テレビ放送を通じて、情報格差の是正に向け、下記のように取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県外の放送番組等について、ICT を活用して放送、配信を実施 ・米軍基地の隣接地域・ビル影・窪地でテレビの電波受信に障害がある地域に、テレビ電波の共聴サービスの視聴環境を提供 <p>○県内の絶滅危惧種を保護する目的で仕掛けられた外来種駆除用罠に IoT センサーデバイスを利活用し、害獣駆除にかかる負荷軽減の実証実験に取り組んでいます。</p> <p>○沖縄県警察とプロバイダ事業者などで、サイバー犯罪の情勢や手口などについて情報共有、連携して、サイバー犯罪の未然防止に向けて取り組んでいます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
59	沖縄県技術士会大城政人	<ol style="list-style-type: none"> 1 会員は、県民所得の向上に係る地域経済循環率の改善に取り組んでいきます。 2 会員は、本県の持続可能な農林水産業の成長・発展に取り組んでいきます。 3 会員は、有害化学物質や大気、水質及び土壌汚染等による県民への健康被害等のリスクの低減に取り組んでいきます。 4 会員は、本県の将来の科学技術を担う人材育成の機会創出に取り組んでいきます。 5 会員は、性別に基づく役割分担(ジェンダー)などの意識改革に取り組んでいきます。 6 会員は、県内及びアジア・太平洋地域などの途上国において、安全・安心な水の確保・利用・管理等に取り組んでいきます。 7 会員は、全ての人々の安価かつ信頼できる持続可能で近代的なエネルギーへのアクセス確保に取り組んでいきます。 8 会員は、「i-Construction」等の推進により、労働生産性を高めていきます。 9 会員は、沖縄独自の技術・製品開発などに取り組んでいきます。 10 会員は、年齢、性別、障害、宗教などの状況に関わりなく、全ての技術者に対して技術者倫理の徹底に取り組んでいきます。 11 会員は、包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で、持続可能な都市及び人間居住づくりに取り組んでいきます。 12 会員は、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用に取り組んでいきます。 13 会員は、防災・減災対策による県土保全に取り組んでいきます。 14 会員は、サンゴ礁生態系の保全・再生及び持続的利活用に取り組んでいきます。 15 会員は、陸域生態系の保全・再生及び持続的利活用に取り組んでいきます。 16 会員は、あらゆるレベルにおいて、効果的で説明責任のある包摂的な制度構築に取り組んでいきます。 	

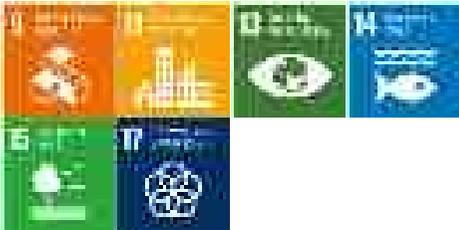
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>17 会員は、万国津梁の精神のもと、「日本とアジア・太平洋地域をつなぐ架け橋」として、国際社会における日本のプレゼンスを高める活動に取り組んでいきます。</p>	
--	--	---	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
60	一般社団法人 沖縄県建設環境コンサル タンツ協会会長 平良 辰 二	<p>1. 沖縄県に本社、支店等がある県内外の建設環境コンサルタントの技術、情報交流を通じて、沖縄県の建設環境コンサルタント事業に関する技術向上を図ります。また、県内外企業の親睦・交流を通して相互の文化を学び合い理解を深めることに努めています。</p> <p>2. 沖縄県の関係部局等との意見交換を通じて相互理解をはかるとともに、会員企業へ建設環境コンサルタント事業に関する施策等の情報の提供を行なっています。また、会員企業の経営改善、雇用の確保、賃金アップ、時間外労働の是正、週休2日制の確保など働き手の幸せの向上に努めています。</p> <p>3. 協会セミナーを開催し、環境問題等の様々な分野の講師を招聘し、沖縄県の抱える諸課題の解決にむけて理解を深め、建設環境コンサルタント技術者の資質の向上をはかっています。</p> <p>4. ホームページを通じて建設環境コンサルタント事業について情報を提供し、多くの県民に協会活動を知っていただき、生活環境の不安の解消、安全・安心の提供に貢献しています。</p> <p>5. 防災・減災関連調査、環境 DNA、自然再生やドローンを活用した漂着ごみ調査等新技术を駆使し、行政施策の実施に関する協力及び提案を行い、環境の保全と県民の生命・財産の安全との調和に貢献しています。</p> <p>6. 会員企業は自社のコンサルタント業務を通じて多種多様なサービスを提供しています。(1) 環境アセスメント、環境基本計画の策定 (2) 食品分析、水道水質検査、衛生検査、HACCP、PCR 検査 (3) 大気や水質等の分析・測定、作業環境測定 (4) 自然環境・生態系の保全、自然再生、外来種対策、希少野生生物調査 (5) 環境学習、ワークショップ運営 (6) 都市計画 (7) 電柱の地中化、景観の整備 (8) 廃棄物処理対策 (9) 再生可能エネルギー発電、バイオマスエネルギー (10) 赤土流出防止 (11) 海岸漂着物モニタリング、防災・減災システム (12) 気象情報の配信 (13) 河川、海岸、港湾の整備保全 (14) 道路、橋梁の整備保全 (15) 上下水道の整備保全 (16) グリーンインフラの活用。このように多岐に及ぶ建設環境に関わる技術、知識を有する会員企業の活動を活性化するため、協会組織として率先して情報発信し、連携して沖縄県の持続可能な発展に貢献してまいります。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
61	株式会社 沖縄建設技研 代表取締役宮城 敏明	<p style="text-align: center;">～ 人と自然が調和する社会を目指して ～</p> <p>株式会社 沖縄建設技研は、地域に密着し、必要とされ、信頼される企業を目指し、「自然に優しく未来を見つめて 人と自然のハーモニーを奏でる」をモットーに、建設コンサルタントとして技術の向上に努めています。</p> <p>沖縄の美しい自然を大切に守り、そこで暮らす人々の幸せを第一に考え、豊かで、調和に満ちた未来を築くため、下記の内容について取り組んでいきます。</p> <p><u>9 産業と技術革新の基盤をつくろう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 経済発展と豊かな生活を支える、社会インフラを整備する。 ・ 環境に配慮した技術で、インフラや産業を改善する。 <p><u>11 住み続けられるまちづくりを</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 誰もがどこでも行けるように、安全・安心な交通の安全性を改善する。 ・ 自然災害による人や経済の損失を、できるだけ小さくする。 ・ すべての人に、安心して利用できる緑地や公共スペースを提案する。 <p><u>13 気候変動に具体的な対策を</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害に対する対応力と回復力を高めていく。 ・ 気候変動に対する、正しい知識と対応能力をみんなに広める。 <p><u>14 海の豊かさを守ろう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海へ流れるごみを減らし、これ以上の海洋汚染を防ぐ。 ・ CO2 を減らし、海の酸化を食い止める。 <p><u>15 陸の豊かさも守ろう</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 森や野原、川や湖の生態系を保存し、回復させるよう努める。 ・ めぐみゆたかな山の生態系を守る。 <p><u>17 パートナーシップで目標を達成しよう</u></p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

- | | | | |
|--|--|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none">・ 多種多様なパートナーシップで、SDGs を推進する。・ 最も効果的なパートナーシップを見つけ、推進する。 | |
|--|--|---|--|

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
62	<p>公益財団法人沖縄県建設技術センター</p> <p>理事長玉城佳卓</p>	<p>沖縄県建設技術センターは、良質な社会資本の整備と秩序ある地域社会の健全な発展を目指し、それらを担う人材の育成、社会資本の整備や維持管理及び安全・安心な住環境の実現への支援を行い、もって広く県民の福祉の増進に寄与することを目的に設立され、各種事業を実施しており、SDGs にも広く取り組んでいます。</p> <p>●人材育成を目的とした研修の実施 県・市町村及び民間技術者を対象に、急速に多様化・高度化する建設技術に対応するための技術力向上を図る研修を無償で実施しています。</p> <p>実施している研修は、災害復旧や景観形成、多自然川づくりやコンクリート構造物の耐久性など、SDGs と関連した幅広い内容となっています。</p> <p>●ゆいくる制度に基づく建設リサイクル資材の推進 当センターは沖縄県が制定している、県内で排出される建設廃棄物を原材料として製造されるリサイクル資材を評価・認定する制度「ゆいくる制度」の審査等機関です。沖縄県と連携し、ゆいくる材の品質と安全性の確保に努め、ゆいくる材の利用促進活動を行っています。</p> <p>●構造物の耐久性向上を目的としたフライアッシュコンクリートの調査研究の実施 当センターは、沖縄県と連携して、副産物の有効利用やコンクリートの品質・耐久性向上を目的とした、フライアッシュコンクリートの調査研究や、「沖縄県におけるフライアッシュコンクリートの配合及び施工指針」の策定を行い、利用促進に取り組んでいます。</p> <p>●インフラメンテナンスサイクルの実現を支援する公共施設の台帳整備・点検業務 当センターでは、公共構造物の効率的な維持管理のために必要な台帳整備の他、橋梁やトンネルなどの安全性を確認する点検や、長寿命化修繕計画の策定を支援しており、長く使い続けるためのインフラメンテナンスサイクルの実現を目指しています。</p> <p>●安全・安心な住環境の提供を目指す建築関係事業の実施 戸建て住宅からアパートなど集合住宅の建築確認・検査や構造計算適合性判定を行っており、建築基準法に適合した安全安心な建築物の提供に努めています。</p> <p>また、地球温暖化対策の政策である長期優良住宅や低炭素建築物の審査や省エネ適合性判定なども実施しています。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
63	<p>沖縄県空手道連合会</p> <p>会長 仲里 稔</p>	<p>沖縄県空手道連合会では、沖縄伝統空手を通して会員の技術向上と体力増進や人格の形成を図ると共に、沖縄伝統文化である沖縄伝統空手の普及・発展・継承活動を行っております。また、世界の空手愛好家に向け、沖縄伝統空手への「原点回帰」をテーマに国際セミナーに関する事業等、国際交流による健全な社会づくり推進にも積極的に取り組んできました。</p> <p>この様な取り組みをさらに推進し、<u>地域社会と持続可能な活動を行う為</u>、SDGs 宣言を行い、下記の通り「おきなわ SDGs パートナーの取組み」を推進して参ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●SDGs 3 「すべての人に健康と福祉を」 <ul style="list-style-type: none"> ① 沖縄伝統空手を通し、地域社会へ健康促進による健康寿命の延伸を図る。 ●SDGs 10 「人や国の不平等をなくそう」 <ul style="list-style-type: none"> ② 性別・年齢・運動能力を問わず、同じ稽古を通し達成感を共有する。 ●SDGs 5 「ジェンダー平等を実現しよう」 <ul style="list-style-type: none"> ③ 女性の能力強化促進の為、理事や指導員など女性役員の増員に努める。 ●SDGs 4 「質の高い教育をみんなに」 <ul style="list-style-type: none"> ④ 全ての子供達が平等に学べる様、健康な青少年育成の支援を確立する。 ●SDGs 16 「平和と公正をすべての人に」 <ul style="list-style-type: none"> ⑤ 海外指導員を教育し、空手の精神を伝える事で世界平和に貢献する。 ●SDGs 11 「住み続けられるまちづくりを」 <ul style="list-style-type: none"> ⑥ 地域団体の依頼により、型演武などの披露で、沖縄県の文化事業に協力する。 ●SDGs 4 「質の高い教育をみんなに」 <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 障がい者向けに、空手教室大会開催による「ライフスキル」の修得を図る。 	      

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
64	一般社団法人 沖縄県産業資源循環協会 会長 赤嶺 太介	<ul style="list-style-type: none"> ●廃棄物の適正処理を目的とした、相談指導事業電話、mail での対応を中心に、会員はもとより排出業者、処理業者からの適正処理に関すること、一般県民からの処理困難物な廃棄物に関することなどの相談指導を行っております。 ●不法処理対策事業各地区において関係機関・団体と連携して不法投棄パトロールを実施し、未然防止と抑止に努めております。 ●講習会及び研修会事業廃棄物の排出事業者・処理業者向けの研修会を実施しております。 産業廃棄物許可申請に関する講習会の運営協力を実施しております。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
65	一般社団法人沖縄県産業資源循環協会青年部 部会長 大城 大輔	<ul style="list-style-type: none"> ●環境出前講座（次世代に向けた活動）事業環境出前講座を県内小学校において開催し、ごみから考える SDGs 学習、ゴミの分別、4R(リフューズ、リデュース、リユース、リサイクル)について、行っております。 ●ビーチクリーン事業海岸漂着物の清掃活動を実施しております。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
66	<p>沖縄県三線製作事業協同組合理事長 渡慶次道政</p>	<p>●後継者育成沖縄のものづくりと文化の担い手を育てます。 伝統に学び、新しい三線文化を創造する楽しさ、難しさを伝え、ものづくりと文化を担う後継者育成を目指します。 沖縄で培われてきた三線の製作技術の保全はもちろん、伝統的な技術を生かしながら未来の沖縄にふさわしい「新しい三線」を創造することにも取り組みます。</p> <p>●三線文化の普及 三線文化の魅力を国内外へ普及させる仕組みづくりに尽力し、「三線ツーリズム」を提唱します。三線の魅力を生かしたプログラムを生み出し続け、これにより、三線文化が沖縄県の観光資源のひとつとなることを目指します。 歌って弾くだけでなく、「製作する」「創造する」「知る」「学ぶ」「愛でる」「保存する」「継承する」「育成する」など多種多様な切り口から三線の魅力を世界中へ発信します。</p> <p>●三線の樹（き）プロジェクト 三線の原材料は数年のうちに枯渇し、沖縄で三線を製作することが難しくなると職人たちは危機感を感じています。 育成期間が100年以上必要となる「琉球黒檀」をはじめ、原材料となる三線の樹（き）を県内で育樹し、代替材を研究し、「消費するものづくり」を「持続可能なものづくり」へシフトさせてゆくことを目指します。 本プロジェクトは自治体や企業の緑地化・造林事業と協力することを目指しており、樹々を育てることに「沖縄文化を支える、つなげる」という意味を持たせることができるかと期待でき、沖縄ならではの緑地化となることが期待できます。</p>	  

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
67	<p>公益社団法人 沖縄県精神保健福祉会連合会</p> <p>会長 山田 圭吾</p>	<p>沖福連は、『誰もが安心して病むことのできる社会、何度でもチャレンジすることのできる地域社会』の実現を目指して、地域精神保健福祉の普及啓発および、精神障がい者家族会の支援や、各種の福祉サービス事業の運営に取り組んでいます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修や就労支援を通じた人材育成を行なっています。 (精神保健福祉研修会、障がい者職業訓練事業、『家族による家族学習会』、大学や専門学校などからの実習生受け入れ等) ●精神疾患や精神保健福祉に関する知識の普及啓発に取り組んでいます。 (広報誌やホームページの活用、映画の制作協力、書籍の出版等) ●福祉サービス事業を通して、障がいを持つ人等の地域生活をサポートしています。 (訪問介護、相談支援、地域活動支援センターの運営等) ●上記に加えて、障がい者施策に関連した各種の協議会、審議会等へ参画し、誰もが排除されない地域づくりを推進しています。 (県および各市町村の自立支援協議会、県障害者施策推進協議会、移動等円滑化評価会議沖縄部会、県障害者差別解消調整委員会等) ●就労支援事業においては、「環境保護」や「健康増進」、「沖縄らしい文化の保全」等を心がけて、生産活動に積極的に取り入れています。 (リサイクル資源や微生物資源の活用、遊休農地の活用、伝統工芸「紅型染め」に関する取り組み、弁当事業における「健康な食事・食環境」認証取得等) ●誰もが働きやすい職場環境の整備に取り組んでいます。 (女性の雇用促進、定年後再雇用制度による高齢者の雇用、障がいを持つ人の働き甲斐の応援等) ●地域企業や関係団体との連携やパートナーシップを大切にしています。 (多職種連携の実践、「農福連携」の取り組み、地域企業からの業務受託等) 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
68	<p>一般社団法人沖縄県測量 建設コンサルタント協会</p> <p>会長 砂川 健治</p>	<ol style="list-style-type: none"> 1 従業員の所得向上を図り、本県の貧困問題改善に取り組んでいきます。 2 本県の持続的な農林水産業の発展に取り組んでいきます。 3 県民の健康被害リスク低減に取り組んでいきます。 4 学生等への出前講座等を開催し、建設業を担う人材育成の機会を創出します。 5 女性・若者の活躍の推進などに取り組んでいきます。 6 JICA 事業等を通じて、安全・安心な水をつくる生物浄化法等をアジア・太平洋地域などの途上国へ展開していきます。 7 地域全体の低炭素化や暑熱緩和、安全・安心なまちづくり、都市の維持コストが低廉化される事業等に取り組んでいきます。 8 「i-Construction」などを推進し、労働生産性を高めていきます。 9 沖縄独自の技術・製品開発等に取り組んでいきます。 10 年齢、性別、人種、障害、宗教などの状況に関わりなく、すべての技術者に対して技術力向上を図る支援を行っていきます。 11 沖縄らしい風景・景観を備えた魅力を引き出す地域づくり、カーボンニュートラルに貢献する生活実現に取り組んでいきます。 12 廃棄物発生的大幅な削減に取り組んでいきます。 13 気候変動により増大する水災害リスクに備え、流域を含めた沿岸域の防災・減災対策事業を通じて、県土保全に取り組んでいきます。 14 サンゴ礁生態系の保全・再生および持続的利活用が可能な社会資本整備の推進に取り組んでいきます。 15 陸域生態系の保全・再生および持続的利活用が可能な社会資本整備の推進に取り組んでいきます。 16 ウチナーンチュの平和を愛する心を世界へ発信していきます。 17 万国津梁の精神のもと、日本とアジア・太平洋地域を結ぶ架け橋としての責務を担っていきます。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
69	<p>沖縄県ビジネスプランニング事業協同組合</p>	<p>主催している「発酵✕グランピングフェス」イベント（毎月第4土曜日開催）を通して、幅広い年齢の方に対して SDGs の啓蒙活動を行います。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゴミ」ではなく「循環する資源」に変えるコンポスト 私たちは、コンポストが各店舗やまち全体に普及したシステム・環境をつくる ・アップサイクル商品の開発で「ゴミを減らす」 伝統工芸品の制作及び、食品ロス（フードロス）を減らす取り組みのなかでも、廃棄食材で新たな商品やメニューを開発 <ul style="list-style-type: none"> ①お菓子箱から「パーランクー太鼓」を制作・販売 ②規格外野菜から「お野菜ジャム」を開発・販売 ③出汁を摂った後の食材から「フードロスカレー」を開発・販売 ・小学生からの「こども店長」 飽きない商いを生み出す力を育てる ・イヌ・ネコ「殺処分」頭数トップクラスの沖縄を変える「犬ネコ譲渡会」を実施 ・「サンゴの株主」プロジェクト（国頭漁業協同組合青壮年部養殖部会）支援 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
70	株式会社沖縄県物産公社 代表取締役社長比嘉徹	<p>1. 商品力の向上、県産品の販売促進、文化・観光の情報発信を推進します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県産品の販売促進のために試飲・試食販売を実施し、商品紹介の拠点としての取り組みを実施しています。 ○沖縄の歴史・文化・芸能等を積極的に紹介し、沖縄ファンづくりに努めています。 ○沖縄県外の量販店にて「沖縄フェア」を開催し、沖縄県産品の販路拡大に加えて沖縄の歴史・文化等の情報を発信しています。 ○沖縄県産品の輸出増加を図るため、海外向け商品の改良・開発を行います。 ○沖縄県外で「沖縄物産展」を開催し、(一財)沖縄観光コンベンションビューローと連携して沖縄の観光・文化等の情報を発信しています。 ○新規取引先を発掘し、新商品の販売促進と併せて商品表示等の適正指導により商品力の向上に取り組んでいます。 <p>2. 商品の発掘、開発等により生産事業者の持続的な活動を支援するとともに雇用の増加、技能の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○消費者ニーズのある地域限定商品等の掘り起こしを行っています。 ○シークワサーの絞りカスを使った商品の共同開発を行っています。 ○健康食品の販売を強化してお客様の健康維持に貢献します。 <p>3. 農水産物の販路拡大、所得向上を図るとともに農水産物の加工商品を開発し、農業生産の向上を図ります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県外・海外向けに農水産物（農薬不使用・有機認証商品を含む。）の販路拡大に取り組んでいます。 ○青果の規格外を加工メーカーに紹介し、完成した加工品の販売に取り組めます。 <p>4. 環境に配慮した製品開発、改良を支援し、環境の保全に寄与します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○使用するUバッグは環境に配慮した素材を使用し、エコバッグの使用も推奨しています。 ○配送の際には再生段ボール等を使用しています。 ○バガス商品等、環境に配慮した商品を積極的に仕入れて販売します。 ○フードバンクとの提携により食品ロスの削減に努めています。 ○賞味期限3分の1ルールについての見直しをお取引様とともに考えます。 ○給与明細電子化等、ペーパーレス化を促進しています。 <p>5. 地域に貢献できる取り組みを実施します。</p>	

おきなわSDGsパートナーのSDGsへの取り組み

- | | | |
|--|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none">○首里城マスク約 10 万枚を沖縄県社会福祉協議会へ寄贈し、高齢者・子ども支援に努めています。○首里城復興&SDGs応援バッジを販売することで首里城復興とSDGsへの取り組みを支援しています。 | |
|--|---|--|

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
71	<p>一般社団法人沖縄県マリ ンレジャー事 業者団体連合会</p> <p>会長 安谷屋 正和</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 貧困をなくそう マリンレジャー産業はサービス提供価格の適正化に苦しみ、価格競争から最低賃金も支払われていないこともあり、産業を健全化することで適正価格でのビジネス環境創出を目指します。 ● すべての人に健康と福祉を ダイビングは、老若男女・ハンディキャップの有無に関係なく誰もが楽しめる数少ないスポーツで、全ての人々が健康的に楽しめる環境創出を目指します。 ● 質の高い教育をみんなに 各地域でインストラクターを集めて、安全や環境保全の研修会を開催し、質の高いサービスが提供できる人材の育成を目指します。 ● ジェンダー平等を実現しよう マリンレジャー産業では男女の差別なく同一労働・同一賃金が実践されているだけでなく、女性のダイビングインストラクターや女性の経営者も多く存在します。 ● 働きがいも経済成長も 沖縄の海の素晴らしさを伝えられるやりがいのある職業として、若い人材の雇用の場の創出を目指します。 ● 産業と技術革新の基盤をつくろう 沖縄の特性を生かし、安心安全なサービスを提供する「沖縄ブランド」確立を目指します。 ● 住み続けられるまちづくりを マリンレジャー産業を健全化することで、低賃金、長時間労働のブラックと思われる現状の改善を目指します。 ● つくる責任 つかう責任 ゴミの分別をしっかりと行い、使い捨てプラスチックゴミの削減を目指しています。 ● 気候変動に具体的な対策を 海洋汚染、気候変動をはじめとする環境問題への学びを深めるオピニオンリーダー的な役割を担える人材育成を目指します。 ● 海の豊かさを守ろう 生物多様性を守るため、各地域で環境保全活動を行い、環境配慮の必要性を啓発する活動を続けていきます。 ● パートナリシップで目標を達成しよう 観光産業だけでなく地域へ経済効果を高めることで絆を強化し、持続可能な観光産業にすることを目指します。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

- | | | |
|--|--|--|
| | <ul style="list-style-type: none">⑪ 沖縄工業高等専門学校との産学連携及び先端技術開発による能力開発⑫ インターンシップの受入による就業支援及び就労施設との業務提携による就労支援⑬ 災害時のインフラとして自治体との災害物資協定や災害支援型自販機による飲料の無償提供⑭ 各種イベントへの協賛及び支援型自販機などによる地域活性化を目指した支援活動や 子ども食堂などへの製品寄贈による地域づくり⑮ 1968年より返済義務のない奨学支援事業を継続。また、環境教育支援事業として、県内の学校や団体の環境活動を助成・支援する「コカ・コーラ環境教育賞」の顕彰活動を展開 | |
|--|--|--|

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
73	<p>NPO 法人 沖縄国際人材支援センター IRESCO</p> <p>理事長 仲田 俊一</p>	<p>持続可能な新たな社会に向け、沖縄経済を支える『働く外国人』に日本語・社会教育を</p> <p>2万人を超えた沖縄在留外国人を労働力としてだけでなく生活者として受け入れ、共生できる社会を形成していく必要があります。そこで、働く外国人が満足感を持って日本での生活をおくり、コロナ後も外国人から沖縄が選ばれるような取り組みを行ってまいります。</p> <p>外国人にとって、異国での生活、仕事には、ストレスが多くかかります。縁があり、私たちと同じように沖縄で暮らす事になった外国人が、契約不履行や疎外感などから沖縄へネガティブな印象を持ってしまわないよう、広い心を持って迎え入れられる環境の整備に尽力してまいります。未来を担う沖縄の子供達にとって、アジア諸国の大切なパートナーです。</p> <p>①生活・仕事相談行政による平日昼間の相談窓口だけでは対応できない、外国人の現実的な悩み相談を受け付けます。ベトナム人通訳が Facebook メッセンジャーによる母国語での相談に対応します。まずは、ゴミの出し方から改善を図ります。</p> <p>②日本語学習支援 外国人のための日本語学校と協力し、働く外国人のスケジュールに沿った教育プログラムを実施する。受入れ企業へ日本語学習の必要性を説明し、E-learning 教材、Zoom を通じた教育を促進する。</p> <p>③海外送金指導 「地下銀行」（銀行法に基づく免許を持たず、不正に海外へ送金する業者）の違法性を改めて説明、啓発する。また、正規の送金で仕送りを行うことで、所得税法上の扶養親族とみなされる事の理解を促す。</p> <p>④所得補償保険の案内コロナ等の病気、怪我で仕事を長期間休む事になった際のセーフティーネットとして、年1万円程の保険を案内する。万が一の際、母国への仕送り、借金返済での資金繰り補填となる。</p> <p>⑤パートナーと協業外国人を雇用する企業や専門家、NPO、行政等と連携し、外国人の課題解決に向けた持続可能な取り組みを実施する。「沖縄外国人雇用スタンダード」を作り、日本全国へ発信する。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
74	株式会社沖縄コングレ 代表取締役武内 紀子	<p>1. 女性男性分け隔てなく管理職への登用を行っています。</p> <p>2. 性別を問わず、仕事と子育てを両立しながら安心して働ける職場環境を整備しています。フレキシブルな勤務体系やテレワークの選択などを通して、誰もが安心して活躍できる職場環境を目指します。</p> <p>3. 会議及び展示会・商談会の主催者へ対し、参加者配布用として海洋汚染を行わない100%天然素材の日焼け止めクリームや、自然に帰る素材で作ったコンベンションバッグ等、海洋・海洋資源を保全する品々を積極的に提案、また、プラスチックゴミが出ないようにするため会議参加者にはマイボトルの使用を即すなどの提案実施を行います。</p> <p>い主催者と協力しあいながらサステナブルな MICE の取組を行っています。</p> <p>4. 郵送物は FSC 認証の封筒を使用しています。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>5. 沖縄コングレ運営の指定管理施設（那覇市テンプス館）にて SDGs に関するイベントを開催する予定です。</p>	
--	--	---	--

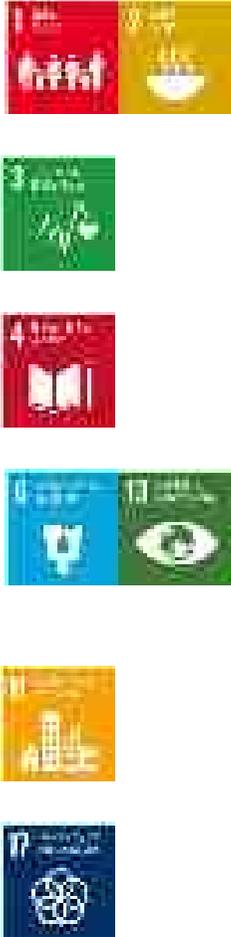
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
75	株式会社沖縄設計センター 代表取締役川満一史	<p>我社は土木コンサルタントとして道路、公園、砂防及び河川分野における調査、測量及び設計を行い、社会基盤整備の一助を担っております。この活動を通して、沖縄県が進める SDGs 推進の手助けとなる活動を実施しております。</p> <p>●安心して働ける環境づくり</p> <p>① 女性の専門職（設計技術者）を積極的に雇用し、将来管理職に登用予定。</p> <p>② すべての社員を正社員とし、「同一労働、同一賃金」を目指す。</p> <p>③ 育児休暇、看護・介護休暇の設定、徹底した労務管理における無理な残業をなくすことを目指す。</p> <p>●社会との連携</p> <p>④ 受注業務より、災害（土砂災害、水害）に強いまちづくり施設の設計を行う。</p> <p>⑤ 我社保有の技術について、同業企業、行政や大学との行政や大学と一体となり、関係者との連携強化や技術力向上を目指す。</p> <p>●環境への働きかけ</p> <p>⑥ 業務の成果として、環境に配慮した製品・材料の使用、リサイクル材料の使用等を積極的に提案する。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
76	協同組合沖縄産業計画 代表理事 喜瀬 喜丈	<p>○健康に対する意識の啓発を行い、疾病による欠勤や休職の削減、労働生産性の向上につなげていきます。</p> <p>○産休・育休の充実、育児休暇後の復帰しやすい環境づくりを整えています。</p> <p>○テレワーク等の活用による働き方の多様化を推進しています。○会議でのペットボトルの廃止、マイボトル持参にシフトしました。</p> <p>○グリーン購入法に適合した古紙パルプ配合率 100%のリサイクル用紙を使用しています。</p> <p>○市町村等から当組合が受託した事業において、SDGs の考え方や具体的な取組を提案しています。</p> <p>〈沖縄 21 世紀ビジョンの将来像との関係〉</p> <p>○「地場産品が沖縄ブランドとして広く認知され、持続可能な発展を支えている沖縄」とするために、県産品のマーケティング支援などを行っています。</p> <p>○「沖縄独自の国際交流の蓄積が、開放的で国際色豊かな風土として息づいている沖縄」となるよう「世界のウチナーンチュ大会」等に積極的に関わっています。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
77	<p>沖縄市東部まつり実行委員会実行委員長 桑江 良尚</p>	<p>沖縄市東部地域の振興のため、東部自治会連絡会（古謝・高原・大里・東桃原・比屋根・与儀・泡瀬・泡瀬第一・泡瀬第二・泡瀬第三・海邦町）の 11 自治会を中心に「沖縄市東部まつり」を開催し、及びそれに付随する事業を実施し当該地域の発展と連帯をとおして沖縄市の発展に寄与する事を目的としている。</p> <p>●1. 貧困をなくそう / 2. 飢餓をゼロに 子ども会、老人会、婦人会、地域企業などと連携を取り子ども食堂やフードバンク活動を行う。</p> <p>●3. すべての人に健康と福祉を 高齢者の尊厳の保持と自立生活の支援の目的のもとで、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、地域の包括的な支援・サービス提供体制の構築を行う。</p> <p>●4. 質の高い教育をみんなに 各地域に残る、歴史・文化・芸能・史跡などを動画や SNS ツールを通して広く伝え継承していく。</p> <p>●6. 安全な水とトイレを世界中に / 13. 気候変動に具体的な対策を 水道の蛇口をこまめに止める。電気をこまめに消し、使用時間を考え、利用者に発信し伝える。</p> <p>●11. 住み続けられるまちづくりを 各地域の魅力を考え、発信していく。地域の清掃や花いっぱい運動、防災訓練や防災教室などを行い、発信していく。</p> <p>●17. パートナースhipで目標を達成しよう 沖縄市東部まつりにて、SDGs に関するブースを設け広く周知していく。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
78	株式会社沖縄シャングリラ 代表取締役 万代 悟	<p>■安心安全で環境に配慮した永く住み継がれる家づくりまちづくり</p> <p>【 省エネ住宅・ZEH 住宅・LCCM 住宅の普及促進 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上記を標準仕様とした規格型商品開発及び販売 ・2025 年度目標上記住宅受注率 50%以上 <p>【 永く住み継がれる住宅の提供 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観、利便性、快適性、安全性に配慮した宅地開発 ・長期優良住宅の普及推進 ・定期的なアフターサポート体制の構築 <p>【 汚染物質の排出防止・分別廃棄の取り組み強化 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみ分別回収容器の適切な設置配置 ・種類や量に応じた適切な認定業者との締結 ・従業員への定期的な周知 <p>■誰もが生き生きと働き活躍できる環境づくり</p> <p>【 働き方改革の推進 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有給取得推奨・女性、母性の健康管理休暇 ・業務効率化電子化クラウド化 ・資格支援制度・学習支援制度 <p>【 生涯学習機会の提供 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従業員による勉強会の開催（年 4 回） ・施行協力業者会での講習会の開催（年 1 回） 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
79	一般財団法人 沖縄美ら島財団 理事長花城良廣	<ul style="list-style-type: none"> ●沖縄の自然、文化、歴史に関する調査研究を基にした講座や展示、イベント、学習プログラムなどを実施 ●オンラインツアーや移動水族館、出前講座など、空間に縛られない学習機会を提供 ●「女性活躍推進法」に基づく行動計画策定、職場における女性活躍の推進、男性・女性職員の育児休暇取得促進 ●若者や障がい者雇用の推進や、定年退職した職員の再雇用など就労支援 ●天然素材の商品袋・容器・ストローの導入による脱プラスチック製品への切り替えを推進 ●地域食材を活用した地産地消、生産物の加工などを通じた食料の廃棄減少 ●生物観察会などを通し、「ヒートアイランド化」や「南方種の北上・外来種問題」などの環境問題に関する普及啓発活動 ●公園や市街地の都市緑化、屋上緑化、壁面緑化に関する調査研究、普及啓発活動 ●生物の健康管理、飼育技術の開発・向上による持続可能な飼育展示 ●海洋生物の繁殖促進、人工授精、緊急保護など、海洋環境保全 ●沖縄・奄美地域に生息する希少動植物や在来種、ならびに緑化木の病虫害に関する調査研究を通じた、生物多様性の維持や生息環境の保全 ●沖縄本島北部地域の自然環境に関するイベントや学習会などを通じた、環境や希少動植物の保全についての学習機会を提供 ●国内外の水族館や研究機関と情報交換・共同研究。 ●自治体や地域、SDGs に取り組む企業や団体との連携による、持続可能な観光資源の発展・開発 <p style="text-align: right;">など</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
80	株式会社 沖縄どきどきツアーズ 代表取締役木村 房祥	<ul style="list-style-type: none"> ●女性正社員、役職者ポジションへの促進女性正社員雇用を促進し、女性店舗マネージャー昇進の促進を行ない、さらに新規事業チャレンジに携わる機会を平等化。 ●地域教育現場への社会的還元と職場体験等の受入促進地域の教育現場へ積極的にアプローチし、子供たちへ幅広い選択肢があることを認知してもらい、将来の沖縄観光を担う人材育成の促進を行なっている。 ●地域少年少女のスポーツ環境改善のサポート地域の子供たちがより良い環境でスポーツが行うことができるように資金面においてもサポート体制を社内で促進している。 ●障がい者雇用維持と若年者雇用促進障がい者の雇用維持と県内若年者の正社員化促進を行い、役職者への昇進の機会を積極的に作り上げている。 ●地域ビーチクリーン活動参加の促進地域単位で行なわれるビーチクリーニングに積極的に参加している。 ●地域の魅力発信許田道の駅にてガイドを設置し、地域魅力発信の促進を行なっている。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
81	<p>沖縄トヨタ自動車株式会社</p> <p>代表取締役社長野原朝昌</p>	<p>【自動車小売業としての責任】 沖縄トヨタ自動車は、モビリティ・サービスを提供するにあたり、省エネ活動を積極的に行い、エコドライブ活動やエコカー普及、交通安全運動などを通じて地域社会の環境保全・環境課題解決に寄与します。</p> <p>▼燃費管理システム 弊社オリジナルの燃費管理サイト「燃費王サイト」を通じて、従業員やお客様の燃費を算出・目標燃費を設定し、日頃のエコドライブに還元できるシステムを構築。システムを活用した企業様へのエコドライブコンサルティングも実施し、より包括的にエコドライブを推進していきます。</p> <p>▼燃費王決定戦 エコドライブを競うイベント「燃費王決定戦」を開催し、エコドライブについての啓蒙・啓発活動に取り組みます。</p> <p>▼電動自動車、エコカーの普及・導入 環境に配慮したエコカーの必要性をお客様に積極的にお伝えすると同時に、社用車のエコカー導入を推進し、環境に配慮したクルマの販売促進を行います。</p> <p>▼その他 ビーチクリーン活動/清掃活動//交通事故防止安全機能の普及活動/子どもたちへ交通安全に関する絵本の贈呈</p> <p>【持続可能な地域社会の保守】 沖縄トヨタ自動車は、地域の文化活動、スポーツ振興支援、地域福祉の向上に積極的取り組み、地域社会の発展・活性化に寄与します。</p> <p>▼防災に関する協定（那覇市/浦添市） 災害時等の避難所等への次世代自動車からの電力供給だけでなく、平時から防災訓練や小中学校等でのエネルギー・防災教育の出前講座等次世代自動車等の技術に親しめるよう努めます。</p> <p>▼健康経営の取り組み YouTube や社内広報誌を活用や社内部活動支援を通じた従業員の健康生活の確保し、年に2回の献血を通じ、福祉を促進していきます。</p> <p>▼その他 スポーツ振興/芸術振興/寄付活動/沖縄県内保健所にコロナウイルス感染症対策車両5台を無償貸与</p>	 

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
82	<p>一般社団法人沖縄トランスフォーメーション</p> <p>代表理事 中島洋</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●こども食堂を運営するタコライスラバース支援 <ul style="list-style-type: none"> ・子供食堂の支援 09/28 活動内容を YouTube に公開 : https://youtu.be/A9uUexgeFo0 ●行政への政策提言や県内中小企業経営改革コンサルティングによる SDGs 導入支援 <ul style="list-style-type: none"> ・Youtube に「SDGs とは」を解説し、情報発信【実績】 ・中小企業経営に SDGs の導入コンサル ●「オープンデータ化」、「個人情報保護体制の確立」、「IoT エンジニアの育成」、「リモートワーク設備整備と産業誘致」、「ワーケーションの拠点づくり」 <ul style="list-style-type: none"> ・ワーケーション基盤整備事業の支援 ・IoT セキュリティ人材育成講座支援 ●生物多様性を目標としてリゾート開発、ゴミのリサイクル化、新エネルギー採用 <ul style="list-style-type: none"> ・生物多様性（環境保全）活動に参画「サンゴ保全」 10/11 活動内容を YouTube に公開 : https://youtu.be/Pej_5YmGN1w ●沖縄国際大学勉強会（10 月中旬から）を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・離島に対するオンライン教育普及活動 ・再生エネルギー普及のための情報システム提供 ・セキュリティ拠点形成事業計画 ・セキュリティ人材育成事業計画と実施 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
83	株式会社沖縄日本管財 代表取締役 城間英享	<ul style="list-style-type: none"> ●事業活動 <ul style="list-style-type: none"> ・安全と快適を目的としたメンテナンスを通じた建物の長寿命化、資源化 ・官民連携事業を通じた財政負担軽減、公共サービス品質の向上 ●地域社会 <ul style="list-style-type: none"> ・官民連携事業による公共性の高い施設管理運営 ・各種団体との連携による業界及び地域社会活性化への貢献 ・各種イベントへの協賛 ●人材採用と育成 <ul style="list-style-type: none"> ・若年層の積極的な人材採用と育成 ・高齢者や障がい者の雇用促進や安全・安心な労働環境の整備 ●地球環境 <ul style="list-style-type: none"> ・エコチューニングや省エネソリューション販売による省エネルギー、CO2 低減及び衛生向上 ・環境に配慮した資機材の使用による省資源化、環境負担低減 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
84	<p>沖縄ハーバービューホテル</p> <p>総支配人松浦 啓</p>	<p>沖縄ハーバービューホテルは、沖縄の持つ観光資源を活かし、沖縄の繁栄に寄与する目的をもって 1975 年 6 月に開業しました。今までもこれからも健全な事業活動を通じて利益の最大化を図るだけでなく、環境への配慮、リスク管理、社会貢献、ダイバーシティ推進、コンプライアンスなどを意識した活動を行い、国連が提唱する SDGs（持続可能な開発目標）への対応を積極的に推進し、お客様が安心してご利用いただける衛生環境向上にも努めてまいります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●環境保全活動創立 45 年を迎えた当社だからこそ実現する、沖縄の自然や文化、歴史などの環境を未来につなげていけるように写真などを使い情報配信を行う ●質の高い教育を 海外学生の日本でのインターンシップ受け入れ ●ジェンダー平等、働き方改革女性が働きやすい環境整備の取り組み：育児短時間勤務制度、時間単位の有給休暇制度の実施により、女性の出産後の社会復帰（女性の経済参加）がスムーズに行える環境の整備 ●パートナーシップ普及啓発活動として、SDGs に取り組み貢献している企業及び個人パートナーシップを結び、プレスリリースや公式ホームページ掲載、館内掲示、フライヤーへの掲載などによる情報発信、アイコン等を web 等で拡散 ●環境保全の取り組み館内 LED 照明を積極的に採用、エアコン設定温度の制限、バックヤードの消灯、クールビズの実施 お持ち帰り商品お渡しの際のエコバック持参を推奨 ●健康と福祉インフルエンザ等の感染症予防を実施や年 1 回の健康診断受診、年次有給休暇取得率 100%を継続 ●つくる責任、つかう責任ごみの分別 ●平和と公正沖縄県暴力団排除条例及び関係法令順守し次の事項を基本方針として、暴力団、暴力団員、暴力団構成員、暴力団関係企業、その他の反社会的勢力を排除することを宣言 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
85	<p>沖縄リラリズム 代表 安里 仁</p>	<p>沖縄リラリズムでは 2014 年から「今日の健康を維持しよう。10 年先までも」を理念に予防医学・食・物販を通じて、沖縄の地域社会の発展に貢献することを使命に介護予防教室と飲食業を行っている。</p> <p><u>③すべての人に健康と福祉を</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・「今の健康を維持しよう！」をスローガンに、元気で生きがい・役割を持って生活できる高齢者を目指した健康づくりの推進。 <p><u>④質の高い教育をみんなに</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・今の元気を維持するための知識を高齢者対象に発信する。 ・高齢者が介護予防教室で得た知識を地域社会に活かす。 <p><u>⑩住み続けられる町づくりを</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生産者との繋がりを深めることで、食材ひとつひとつへの想いが強まり、食材の廃棄削減を目指す。 ・住み慣れた地域で、お互いにつながり支え合う環境づくりの推進。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
86	<p>お手を拝借プロジェクト</p> <p>代表田中 奈 緒美本間 優 希</p>	<p>沖縄クリーンコーストネットワーク（OCCN）やSNSにて告知を行いクリーン活動をより多くの方に参加して頂く事で現状を知ってもらい体感してもらうことで環境保全の意識を高めて将来的に今の子供たちの負担を減らしていけるように人材育成にも取り組んでいます。</p> <p>綺麗な海、自然をゆいまーるの精神で県民みんなで守る意識のきっかけ作りのコミュニティです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●ゴミが落ちてるのは当たり前じゃない環境を子供たちに感じてもらう。 ●クリーン活動した子どもたちは絶対ゴミを捨てない捨てる側の手をとめる活動。 ●一人ひとりが考えて行動することで未来が大きく変わることへの気づき。 ●マイクロプラスチック海洋汚染問題、たばこポイ捨て、焚き火マナーについて漫画にてわかりやすく啓蒙活動。 ●今後も綺麗な沖縄を目指してお手を拝借頂き活動を継続していきたい。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
87	株式会社 office 双葉代表取締役 比嘉 計	<ul style="list-style-type: none"> ●貧困をなくそう office 双葉では、遺品整理などの際に買取させていただいた家具・家電や生活消耗品などを生活困窮者へ寄付をしたり、フードバンク等への協力活動を行っております。 ●すべての人に健康と福祉を孤独死の大きな原因として、身体的な健康はもちろん、社会的な健康も必要です office 双葉では、高齢者の皆様の現状や孤独死の現場から出る様々な事例等を講演させていただき地域の孤独死のゼロを目指しています ●働きがいも経済成長もお客様に「ありがとう」と言っていただけるようなサービスを提供し、スタッフがやりがいのある仕事を行うことを目指しています。地域に密着した事業活動により、地域経済の活性化にも寄与し、より良い雇用と経済活動に取り組んでいます。 ●つくる責任つかう責任遺品整理を行う際「ご遺族は使用しないがまだ使えるもの」や「捨てるにはもったいない」物の買い取りを行い。必要としている人や、施設に寄付を行っています。 <p>天然資源の消費を抑制し、地球環境への負荷ができる限り低減される社会を目指していきます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
88	<p>オリエンタルホテル 沖縄 縄リゾート&スパ</p> <p>総支配人 荒木 昌志</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 客室アメニティのポンプボトル導入検討 ・ ペーパーレス化やリサイクル、リユース、食品ロス削減等ごみの削減 ・ リネン類の不交換及びノークリーニングサービスの導入 ・ リネンの洗濯にかかる電力資源・水資源の節約や排水による環境負荷軽減 ・ 全館照明の LED 化 ・ やんばる畑人プロジェクト(畑人、飲食店、宿泊施設、加工企業などの協力団体)との連携 ・ 名護市農泊推進協議会(農山漁村滞在型旅行)との連携 ・ やんばる朝市かあちゃんの会、やんばる料理研究会への参加 ・ レストランでの紙製ストローの使用 ・ 地域の子どもたちへマナー講習や就業体験の実施 ・ 近隣ビーチクリーン活動参加 ・ 外国籍スタッフおよび障がい者雇用 ・ こども食堂への参加 ・ 「児童養護施設 なごみ」との連携 ・ 青年会のエイサー講演や三線、琉球舞踊公演 ・ Earth Hour=施設内の一部消灯による省エネ(地球温暖化防止活動に参加) ・ ブルーアースプロジェクトとのイベント実施 ・ チャリティーカレー 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
89	<p>オリオンビール株式会社 代表取締役社長 兼 CEO 早瀬 京鏝</p>	<p>(1) 環境</p> <p>① ビーチクリーン活動：全グループ社員及び家族を対象とし、年 4 回のビーチクリーン活動を行っている。プロジェクトマナティとの連携により毎回 100 名前後が参加し、県内約 10 ヶ所のビーチで一斉清掃を行っている。</p> <p>② ゼロエミッション活動：2016 年以降、ビール類の製造過程から出る全ての廃棄物（年間平均約 5,000 トン）をリサイクル・リユーズすることによりゼロエミッションを達成している。琉球大学等の研究機関と連携し、残渣の有効活用法について共同研究を行っている。</p> <p>(2) 教育</p> <p>① シングルマザーキャリア支援事業：「子どもの貧困」にも大きく影響するシングルマザー家庭の所得向上を目指し、県内のシングルマザーのキャリアアップ支援を行う。2020 年には休眠預金活用事業の採択を受け、貧困やシングルマザー家庭の実態調査、琉球大学との共同研究をスタート。</p> <p>② 子どものキャリア教育事業：2016 年より経済的な理由で修業が困難な学生に対し、返済義務のない奨学金を給付している。グループ各社において地域の小中高校との連携を図り、各種体験学習の受入れや講師派遣を行っている。</p> <p>③ 女性活躍推進活動：社内プロジェクトとして、社員意識調査・課題抽出（男性育休 100%・残業軽減によるワークライフバランスの確立・女性管理職登用率アップ）等の取組みの立案・実施により女性が働きやすい環境づくりを行っている。</p> <p>(3) 技術革新</p> <p>① 地産地消を軸とした商品開発：2020 年以降、沖縄県内の経済成長に寄与するため、沖縄県産品を原料とした酒類の開発技術の向上に注力している。</p> <p>② 地域産業との連携による循環型商品の開発：ドラフトビールの原材料に伊江島産大麦を採用し、農家との連携により大麦の生産量向上に取り組んでいる。また大麦の生産を名護市、南城市に展開し産業活性化を図る。</p> <p>(4) 首里城再建支援</p>	

おきなわSDGsパートナーのSDGsへの取り組み

- | | | | |
|--|--|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none">① 首里城再建支援デザイン缶による資金造成／イヌマキ育樹活動：2019年より首里城再建支援デザイン缶を限定発売し、1缶から3円の資金造成を実施。この資金を基に首里城建設資材となるイヌマキの育樹活動を行っている。② 首里城うむいの燈プロジェクト：2020年、首里城焼失から1年の節目に各種イベントを実施（県内17社が参画）。改めて県内外に向けて首里城再建支援の啓発を行った。本イベントは今後、首里城再建まで継続して行っていく。 | |
|--|--|---|--|

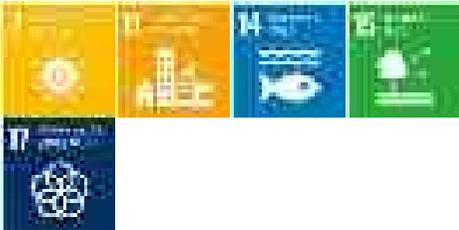
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
90	国立研究開発法人海洋研究開発機構 国際海洋環境情報センター(GODAC) センター長園田朗	<p><u>海洋リテラシーの向上、海洋人材の育成</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 「海洋ごみ問題」をテーマとした館内展示や各種イベント展示、オンラインワークショップ等の開催を通じて、海洋リテラシー向上や魅力あふれる海への理解を深め、社会と海洋との関わりの変化へと結びつく気付きの場を提供します。 ● SDGs を学ぶ3つの学習プログラム；「サンゴ礁のお話と海洋酸性化実験」「海洋ごみ問題について考える」「海の生物多様性」を展開し、これらのプログラムを離島を含む沖縄県内外の学校等教育機関などへ訪問・オンライン授業等で提供することで、現在の海の姿を分かりやすく理解する機会を提供し、将来の海洋・地球環境に関わる人材の育成、ESD の推進に寄与します。 ● 職員による、「さよならペットボトルプロジェクト」（マイボトルの推奨等）の実践とその活動紹介により、「海洋ごみ問題」への意識定着化を行います。 <p><u>地域連携を通して</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海ごみのスペシャリストの育成を目指す人材育成プロジェクトでは、参加者自身が住みよい街づくりに向けたアクションを自ら計画・実践し、社会に示していけるリーダー育成を目的に、課題に気付くための情報提供や、課題解決のための行動計画策定のサポートを沖縄県内の関係機関との連携により推進します。 <p><u>海洋生物情報の発信と国際貢献</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 海洋環境や海洋生物多様性保全等の課題に対して、深海デブリ DB（深海調査による深海ごみの画像情報）やBISMaL（海洋生物多様性情報）等のデータベース公開により関連情報を発信することで、国際的な問題解決の研究推進に貢献します。 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
91	<p>花王グループカスタマーマーケティング(株) 九州支社 沖縄支店</p> <p>支店長野添 久弘</p>	<p>花王グループは、「Kirei Lifestyle Plan」を通して事業のあらゆる面で革新を進め、さらなる社会への貢献をめざしていきます。</p> <p>沖縄県では、衛生・健康・環境・多様性の講座・展示を行うことにより県民の皆様の暮らしやすい街づくりにお役立ちします。</p> <p>○幼稚園、こども園、保育園にて衛生講座を進めております。 こども達が、手あらいをはじめとした日々の衛生行動について正しく身につけ、自身の命と健康を守る行動ができるお手伝いをいたします。</p> <p>○メイク講座、身だしなみ講座を実施し、生き生きとした一人ひとりの魅力を引き出す化粧提案を実施しております。 (就活性向け、アクティブシニア向け)</p> <p>○生活のエコと地球の環境・未来について考える機会のご提供をします。 地球環境・未来について考えるきっかけとなることを願い、県民環境フェアへの参加、世界の子どもたちが描いた環境絵画作品の展示、小学生への環境講座実施をご提案します。</p> <p>○地域コミュニティに対し病気にならない為の健康づくり講座を提案します。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
92	株式会社K A P E N 沖縄支店 代表取締役 嘉数 忍	<ul style="list-style-type: none"> ●地球温暖化防止 ●環境保全 ●低炭素島しょ社会の実現 ●地域社会貢献 <p>・ 沖縄の伝統や文化、素材を生かしたリフォームを心掛け取り組んでいます。</p> <p>・ 沖縄県内の再生可能エネルギーを広める為、太陽光システム、蓄電池の導入、オール電化の販売促進に努めています。</p> <p>・ 清掃ボランティア活動の参加。</p> <p>・ 事務所内の電気使用量を減らす。可能な限りのペーパーレス化。使い捨ての物を減らす。節水。営業車のエコカー導入。緑化。</p> <p>・ SDGs に取組む企業との取引、ホームページ等を活用し活動を広めます。</p> <p>私たち株式会社K A P E N沖縄支店は、従業員一同 SDGs への取り組みを推進、達成へ向け継続し活動していきます。</p> <p>株式会社K A P E N ホームページ https://kapen.co.jp/</p>	

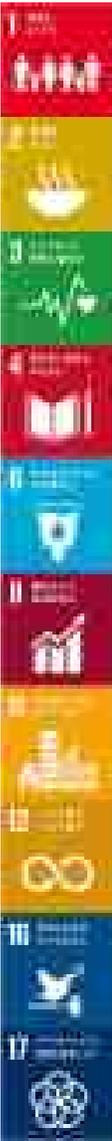
おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
93	ガラス発泡資材事業協同組合 理事長 坪井 巖	<p>組合の本部がある沖縄のトリムを中心に積極的に地域の環境学習の講演活動にも取り組んでおり、昨年9月東風平中学校、今年5月馬天小学校環境学習・6月東風平小学校 講習依頼も多くなっております。またそれぞれの地域で工場見学やブログ等でも環境関連の啓発活動を積極的に行っております。また、時節柄千葉県松戸市の小金高等学校の SDGs の取り組みを発表をするためのインタビューをオンラインで実施させて頂くなど現状に即した活動も実施しています。</p> <p>また、登録完了後にはホームページ等を活用して積極的に対外的に PR していく予定です。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
94	株式会社カルティベート 代表取締役社長比嘉(開)梨香	<p>弊社は“ひと”を原点に据えて地域や職場の活性化をサポートするコンサルタントです。特に地域活性化においては、平成8年の日本初のエコツーリズム協会設立支援に始まり20余年、離島ややんばる地域における人材育成・働きがいの創出・経済振興等に取り組んでいます。</p> <p>【取組① 県内離島における教育旅行受入体制の整備・強化】 沖縄県の離島振興関連事業を通じて、県内離島における人材育成や観光受入体制の構築を行い、持続的に収入を得るための仕組みづくりや、生きがいやりの創出に取り組んでいます。</p> <p>地域・離島課が所管する「沖縄離島体験交流促進事業」においては、受託事業者として、平成22年度～令和2年度で約2万8,300人の小学校5年生を学校及び学年単位で離島へ派遣しました。児童が2泊3日の日程で民家・民宿に滞在し、自然・文化・農漁業の体験、学校や地域と交流するという当該事業を通して、小規模離島に観光協会などの受入組織の立ち上げや体制強化を図り、島らしい体験・食事・土産品等を開発するサポートを行ってきました。</p> <p>また、学校と連携し、学習指導要領に準じた体験や交流プログラムを作り、児童の学びを高め成長を促すことで、学校と受入離島が共に喜ぶ教育旅行の基盤整備を図っています。</p> <p>【取組② 離島におけるオンライン教育旅行実施の基盤整備】 県内離島の住民がオンラインを通じ、学校などへ体験交流プログラムを提供する「オンライン教育旅行」の基盤整備を行っています。</p> <p>多くの住民の参画を促すことで、人口減少や高齢化が進む離島の人々に新しい収入源を作ると同時に、交流人口・関係人口を増やすことで、新産業や技術革新の可能性を広げます。また、離島住民が地域の自然や文化、歴史などの地域の宝を探し磨きプログラムとして提供することで、心と暮らしの豊かさを生み、住み続けられる持続可能なまちづくりを目指します。</p> <p>また、取組①同様に学校現場と連携した学習効果の高い体験交流プログラムの開発や交流を通じた教育支援に取り組んでいます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
95	<p>株式会社キシコーポレーション</p> <p>代表取締役 岸本 晃</p>	<p>●子どもの貧困対策沖縄の未来を担う子どもたちが 夢や希望を持って健やかに生まれ 育ち、豊かな可能性が発揮できる 社会を実現するため、関係機関との連携を充実し、母子保健の充実、保育所入所待機児童の解消等に向けた地域における子育て支援、仕事と生活の調和やひとり親家庭への支援、子ども・若者の育成支援、要保護児童等への支援、子どもの 貧困対策に取り組み、子育てセーフティネットを整備します。</p> <p>企業主導にて、事業所内保育園の設置、運営を行っています。</p> <p>ていんがーら保育園としての具体的な取り組みとして 保育士の事務作業効率の為に ICT を導入することで年間指導計画、月間指導計画、週案、日案、保護者との日々の連絡帳の記入する業務時間短縮で残業ゼロの実現と事務作業に費やされた時間を園児一人一人に寄り添い費やすことで、より安心・安全な保育運営に繋がった。</p> <p>また書類を極力印刷しないことでペーパーレスの意識向上にも繋がった。</p> <p>また、給食は管理栄養士による日替わり献立を自園調理で提供し食材に関してもすべて国産品を使用しています。</p> <p>職員も園児と同じ給食を食べることで、食育について園児一人一人に生産者への感謝や食べることの喜びを共感できる環境です。</p> <p>地域社会貢献として、非課税世帯にも無償化での対応を行っておりお子様の健やかなる成長の支援並びに子育て世帯のベストパートナー企業としての社会的責任を実践しています。</p> <p>また、弊社従業員のお子様も預かることで女性の社会復帰支援のサポートにも取り組んでいます。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
96	株式会社宜野湾電設 代表取締役社長仲村明	<p>【低炭素島しょ社会の実現】</p> <p>●太陽光設備の設計・施工・メンテナンスを行っていますが、今後も県内の太陽光設備を守る為に、技術・情報・サービスの向上を図っていきます。</p> <p>【自然環境の保全・再生・適正利用】</p> <p>●現在は読谷にある金城浩二さんのさんご畑の維持に貢献できるよう寄付と珊瑚株の植え付けを行っています。今後も沖縄の海にもっと珊瑚が増えるよう、継続して様々な取組を行っています。</p> <p>【子育てセーフティーネットの充実】【健康福祉セーフティーネットの充実】</p> <p>●宜野湾市社会福祉協議会の取組への協力や寄付を行い困窮家庭やひとり親家庭への支援を継続して行っています。</p> <p>【社会リスクセーフティーネットの確立】</p> <p>●沖縄県・宜野湾市・浦添市と防災協定を締結しており災害時に対応する組織体背を構築しています。</p> <p>【低炭素島しょ社会の実現】【科学技術の振興と知的・産業クラスターの形成】</p> <p>【沖縄の魅力や優位性を生かした新たな産業の創出】</p> <p>【地域を支える中小企業等の振興】</p> <p>●2017 年から琉球大学・山口大学・株正興電機製作所と連携し RED（逆電気透析）による塩分濃度差発電で、自然エネルギーを利用した自家発電の実験をスタートし未来の脱炭素化に向け製品開発を行っています。今後も継続して商品化に向けて取組んでいきます。</p> <p>【持続可能な循環型社会の構築】</p> <p>●以前エコアクション 21 を取得していたという事もあり 3R 運動を推進していました。2021 年より再生パソコン（リユース）の販売を開始しました。引き続き再生パソコンの販売に力を入れていきます。</p> <p>【健康・長寿おきなわの推進】</p> <p>●社員の健康を考え毎年全社員に健康診断を受けてもらい社員が健康的な生活がおくれるよう継続して取組んでいます。</p> <p>【雇用対策と多様な人材の確保】</p> <p>●働きがいのある会社・働きやすい会社を目指し、社員教育に力を入れていきます。</p>	        

おきなわSDGsパートナーのSDGsへの取り組み

		<p>各人の人生のビジョンを作成させ達成するフォローを行い、人間力を上げるためにセミナー受講や本（職場の教養や京セラフィロソフィー）を通し価値観の共有を図っています。また社内で技術研修も行い、社外への技術セミナー参加も行っています。今後も継続して取組みます。</p>	
--	--	---	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
97	共栄ビル整備株式会社 代表取締役社長山城弘	ビルメンテナンス業を中心に営み、その業務に使用する洗浄剤での環境汚染を考え、出来るだけ環境負荷の掛からないよう水道水を電気分解したアルカリ電解水を更にナノバブル化した洗浄水及びバイオ洗剤等を積極的に活用している。 また、特殊セラミックを活用し、浄化槽、クーリングタワー下部水槽、その他水質の殺菌及び浄化を目的としたマルチ・エコシステムを推進している。	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
98	協和キリン株式会社九州支店沖縄営業所 所長 山田 智久	<p>協和キリン株式会社は、最先端のバイオ技術を基盤とした革新的な新薬の創出、適応拡大・剤型追加や高品質な製品の安定供給で、世界中のアンメットメディカルニーズ（満たされない医療ニーズ）に応えていきます。沖縄営業所では、以下の取り組みを行なっています。</p> <p>○心豊かで、安全・安心に暮らせる島 健康、長寿の復活のため</p> <p>1) 沖縄県において、医療用医薬品の販売を通し、アンメットメディカルニーズに応え、県民の健康へ貢献します。</p> <p>2) 主に以下疾患領域において、医療従事者の方への、講演会等情報提供の機会を通し、治療均てん化、治療啓発へ貢献します。</p> <p>主要領域：慢性腎臓病領域、がん領域、免疫領域、中枢領域、希少疾患、他</p> <p>○美ら島の自然環境の保全と再生のため</p> <p>1) CO2 排出量削減への取り組み 営業活動に使用する燃料を抑えるとともに、CO2 の排出量削減も実現します。</p> <p>2) グリーン・オフィス・プランの推進節電、グリーン購入比率の向上、コピー用紙使用量の削減を行います。</p>	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
99	<p>金城電気工事株式会社 代表取締役社長吉濱功佑</p>	<p>地域社会の発展に役立つことを企業使命としている私たちは、これからも「SDGs」を意識して従来活動に取り組み、持続可能な地域社会の発展に貢献します。</p> <p>【誠実】 お客様第一主義の経営理念のもと、誠実に品質管理の継続的改善や新技術・省エネ提案を積極的に行うことで、お客様や地域の持続可能な発展に貢献します。実現するために、社員はじめ建設産業の担い手が生涯健康に安心して働ける職場環境づくりを整備します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ISO9001(品質マネジメントシステムの維持・向上による適正な運用を通して、お客様に満足いただける安全かつ確かな技術・提案を行う。 ○人生 100 年時代に向け、社員が生き生きと安心して健康に働くことができる職場環境づくりを整備する。 <p>【研鑽】 人と企業、人財力と企業力両面の向上、働きがいのある職場づくりが、持続可能な地域社会の発展に寄与することを踏まえ、社会情勢や環境の変化に柔軟に対応できる社員の育成、社員自らの研鑽成長により持続可能な地域社会の発展、未来づくりに貢献できる人材に育つ職場づくりに取り組みます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○社員一人一人が、人間性と技術の練磨に励める環境を整備する。 ○社会情勢や環境変化に敏感な社員の育成に努め、社会のニーズに寄り添う事業活動を心がける。 <p>【奉仕】 子供たちの教育問題や貧困問題、少子高齢化や人口減少問題そして地球温暖化問題など多くの社会課題解決を担える人材育成に取り組み、持続可能な地域社会づくりに協働の精神をもって奉仕・貢献することで限りなき発展に挑戦します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ISO14001(環境マネジメントシステムの維持・向上による適正な運用を通して環境負荷を考慮して事業に取り組む。 ○地域清掃ボランティアやペーパーレス化そして節電・節水など、環境へ配慮した活動を推進する。 	  

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

		<p>○各種義援金や寄付金等も活用し、福祉事業支援や伝統文化継承そして子供たちの育成に貢献するなど。</p>	
--	--	--	--

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

No.	団体名・代表者名	SDGs への具体的な取り組み	関連するゴール
100	株式会社近代美術代表取締役大城恵美	<p>●企業活動における SDGs の具体的な取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 貧困対策の募金箱を社内に設置し団体へ支援を実施。 2. 学ぶ推進制度（費用全額負担）を設け社員ひとりひとりの知識、スキル、感性を育成。また余り紙を再利用（ノートに加工）し保育園などに寄贈を行い子供たちの学びの一助となるように活動。 3. ジェンダーによる差別等をなくすべく、苦情相談窓口を設置し常に社員に寄り添う仕組みを実施。 4. 障害者雇用・外国人雇用を行い、また自立が出来るようにサポート体制を整え働やすい職場づくりを推進。 5. ビーチクリーン活動へ積極的に参加し沖縄の綺麗な海を守る取り組みを定期的に行う。 6. 会社周辺の清掃活動・地域清掃活動参加・植樹祭の参加で住みよい暮らしになるように環境を整備。 <p>●印刷技術における SDGs の具体的な取り組み</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 県内初！環境に優しいフレキソ印刷システム導入（軟包装印刷） <ul style="list-style-type: none"> ・水性フレキソインキや UV インクの使用で VOC(揮発性有機化合物)を大幅に削減。 ・ノンソルラミネート（無溶剤対応）はドライラミネート（溶剤対応）と比較して電気を約 60%削減可能。 ・エージングルームの温度・湿度管理にはコンプレッサーの排熱を再利用。 ・PET ボトルのリサイクル原料を 25%以上使用したフィルムシートを材料に使用。 ・フレキソ印刷事業はまったく新しい事業のため新たな雇用を創出等。 2. “しめし水”が発生しない 水なし印刷を採用 <ul style="list-style-type: none"> ・しめし水から発生する VOC を根絶。しめし水に含まれるアルコールやエッチ液などが不要。 ・しめし水不要により 温室効果ガス削減。カーボンオフセットを用いた“脱炭素印刷”の実現。 ・水質汚濁防止法基準値を超えるしめし水廃液や特別管理廃棄物に相当する現像廃液がゼロ 等。 3. カーボンオフセット PS 版 ・ インキを使用し CO2 排出量削減に貢献 	

おきなわ SDGs パートナーの SDGs への取り組み

- | | | | |
|--|--|---|--|
| | | <ul style="list-style-type: none">● 「沖縄 21 世紀ビジョンの将来像」を共有しその実現のために、低炭素島しょ社会の実現、新たな産業の創出、人材の育成等々、様々な取り組みを行っています。 | |
|--|--|---|--|